

市民アンケートのその他クロス集計

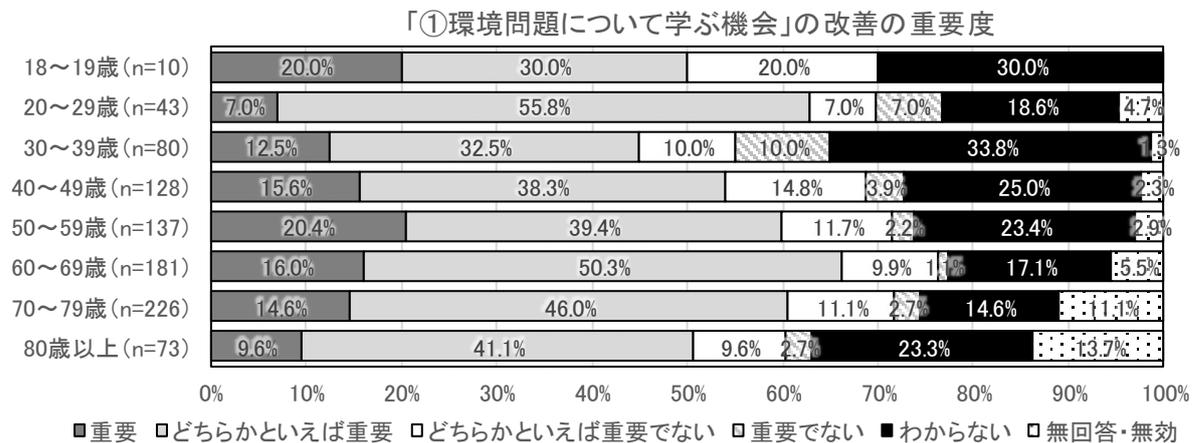
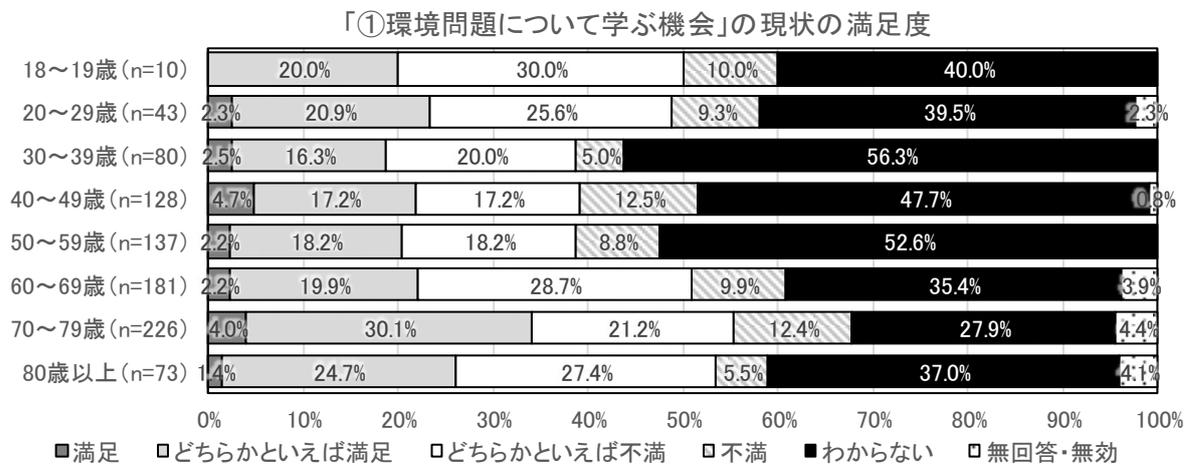
1. 第4問関係 クロス集計結果（問2：年齢別）

「①環境問題について学ぶ機会」の現状の満足度について、70～79歳が「満足」、「どちらかといえば満足」と答えた割合が最も大きい。

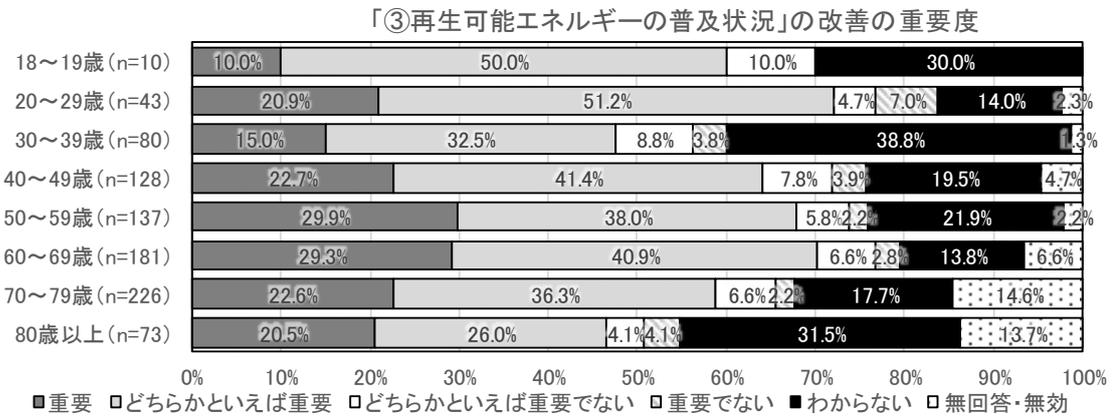
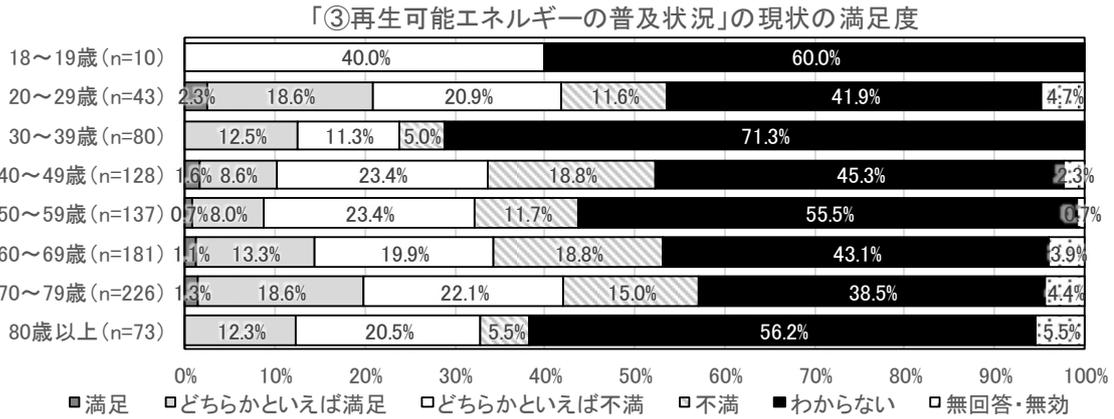
「③再生可能エネルギーの普及状況」と「④熱帯夜などのヒートアイランド現象」の改善の重要度は、20～29歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳が「重要」「どちらかといえば重要」と答えた割合が大きい。

「⑤「自然」とふれあう機会」は、年齢が上がるにつれて「満足」と答える割合が小さくなる傾向にある。

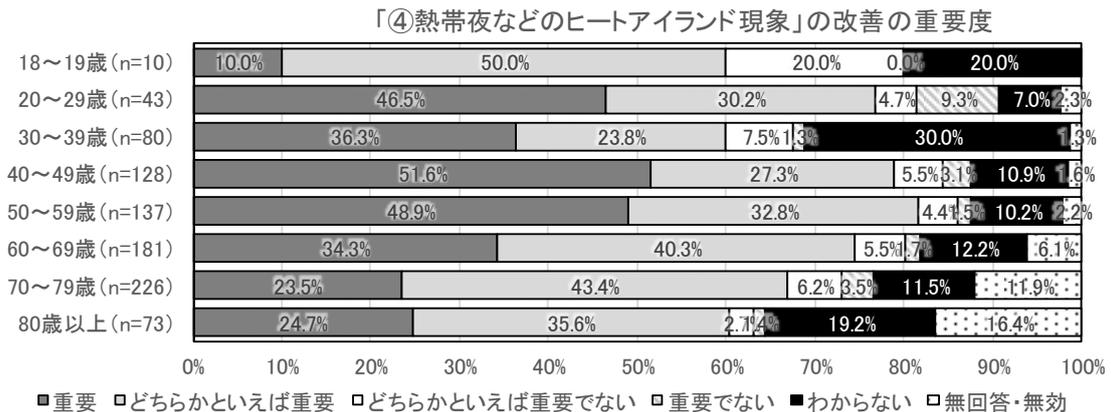
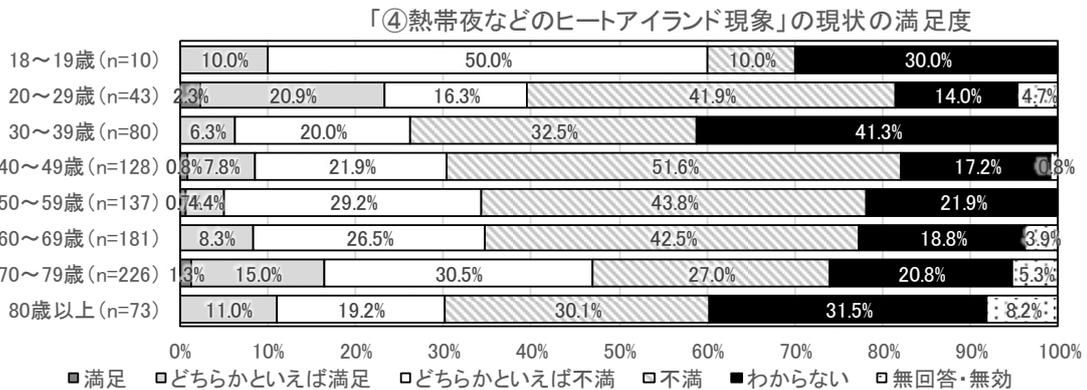
①環境問題について学ぶ機会



③再生可能エネルギーの普及状況

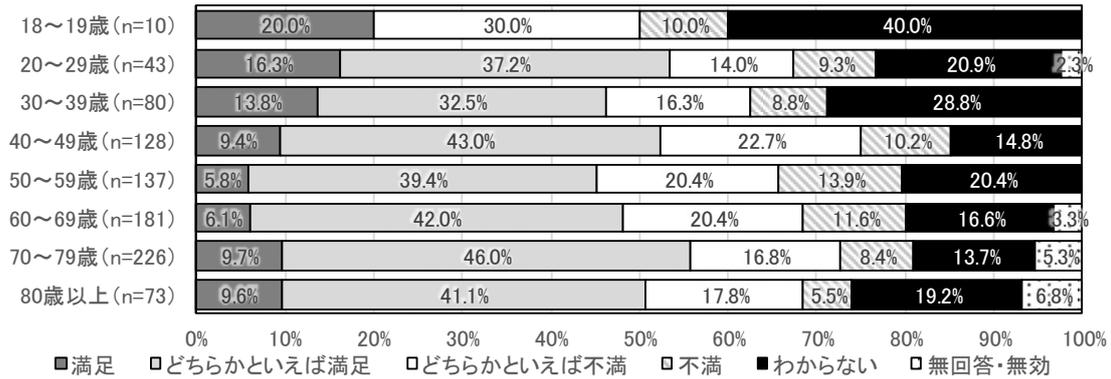


④熱帯夜などのヒートアイランド現象

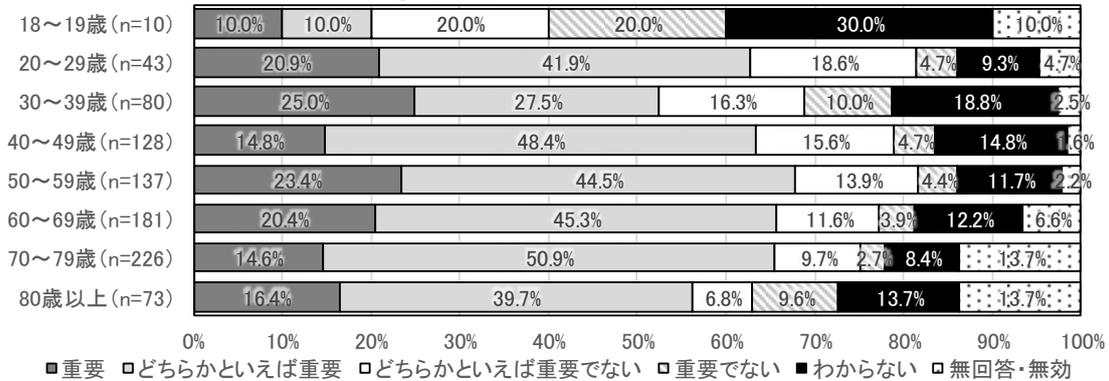


⑤「自然」とふれあう機会

「⑤「自然」とふれあう機会」の現状の満足度



「⑤「自然」とふれあう機会」の改善の重要度



2. 第4問関係 クロス集計結果（問3：地域別）

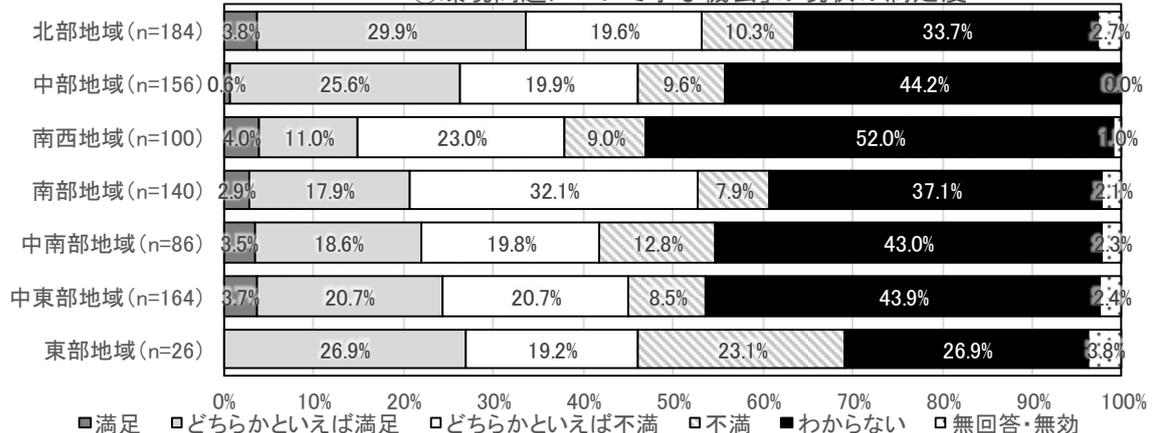
「①環境問題について学ぶ機会」と「②環境に関する情報の入手しやすさ」の改善の重要度について、東部地域が「重要」と答えた割合が大きい。

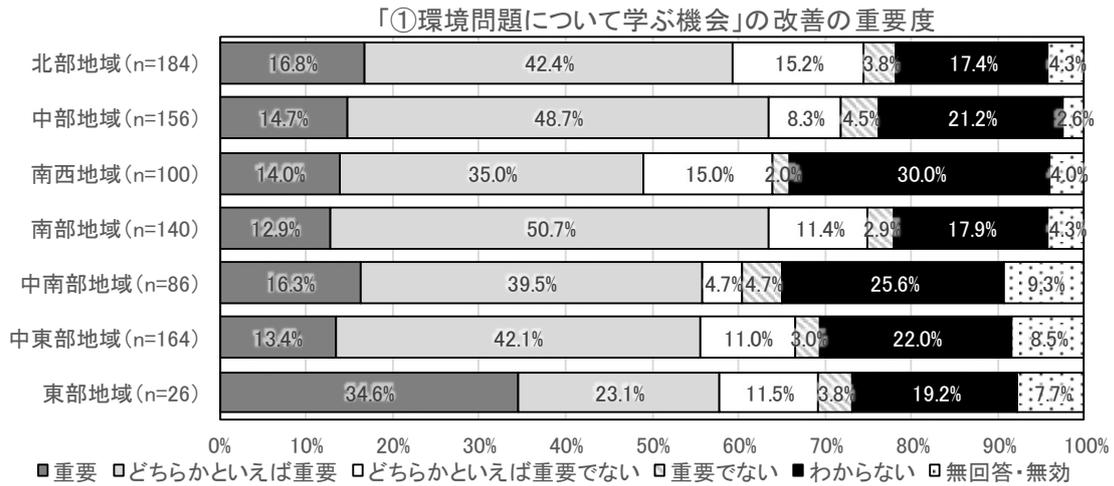
「⑤「自然」とふれあう機会」の現状の満足度は、東部地域が「満足」、「どちらかといえば満足」と答えた割合が大きく、改善の重要度は東部地域が「重要」、「どちらかといえば重要」と答えた割合が低い。

「⑩ごみの削減や分別の状況」の現状の満足度について、東部地域が「満足」と答えた割合が大きい。

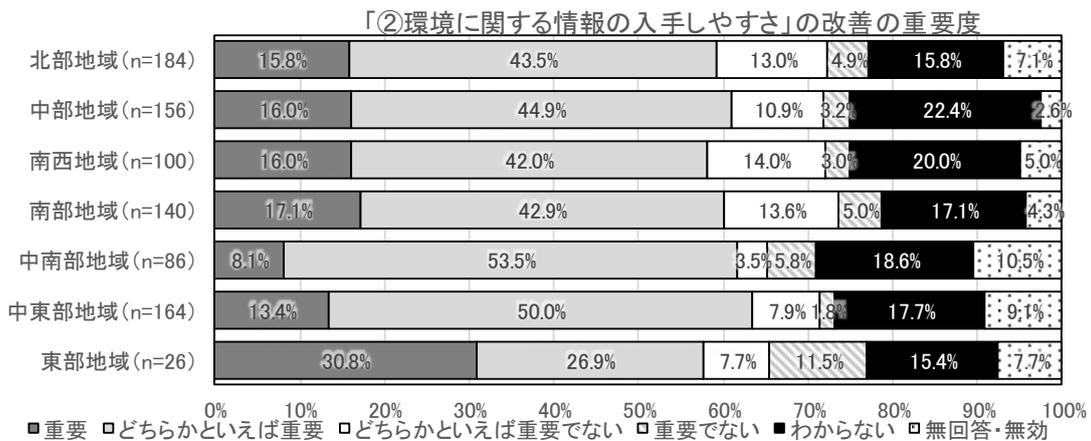
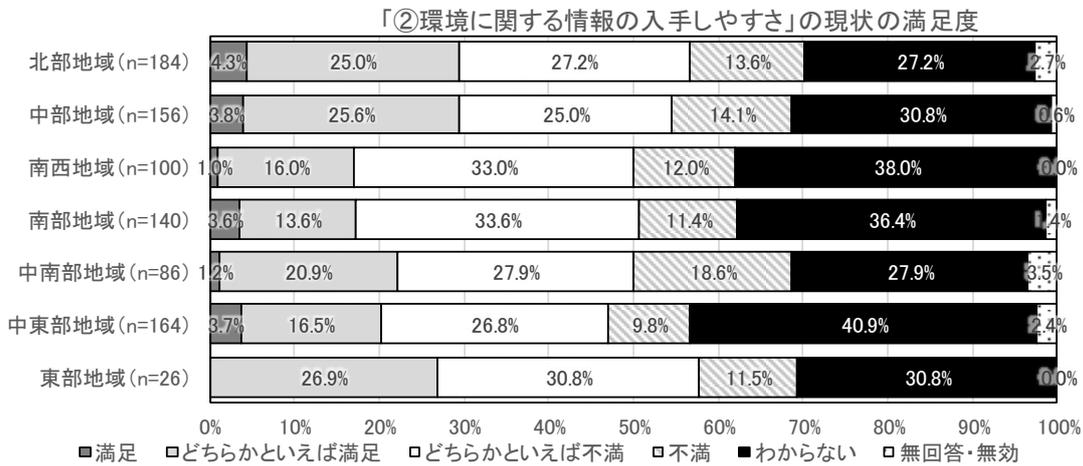
①環境問題について学ぶ機会

「①環境問題について学ぶ機会」の現状の満足度

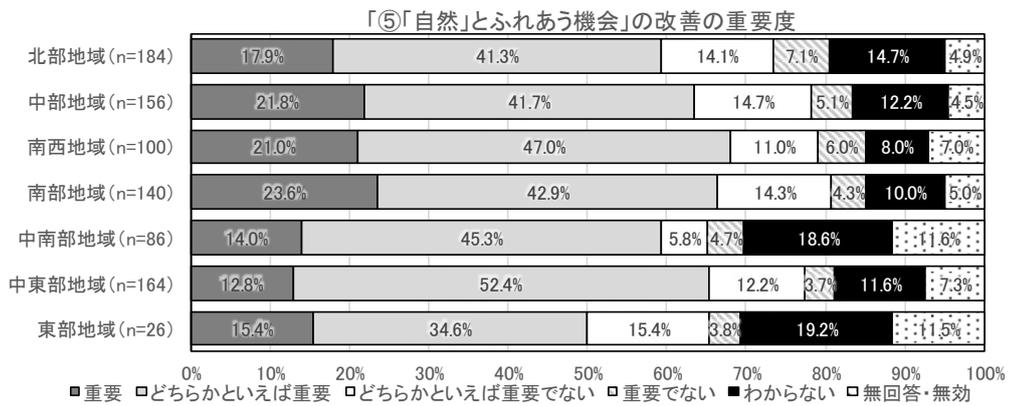
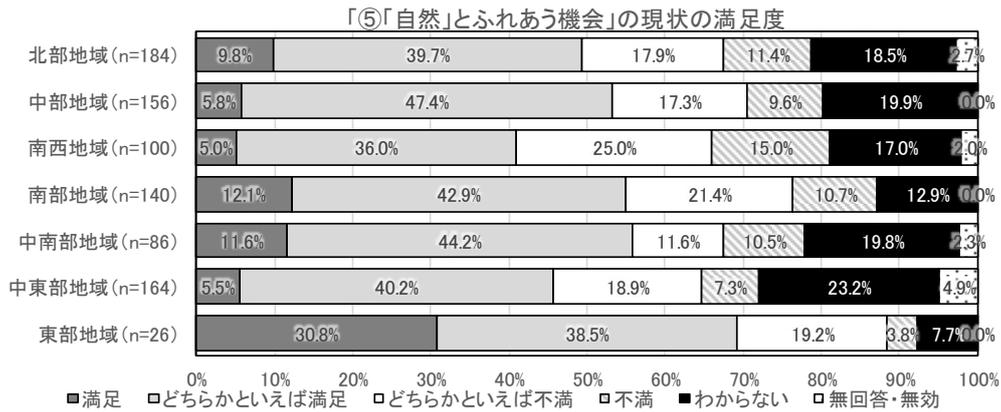




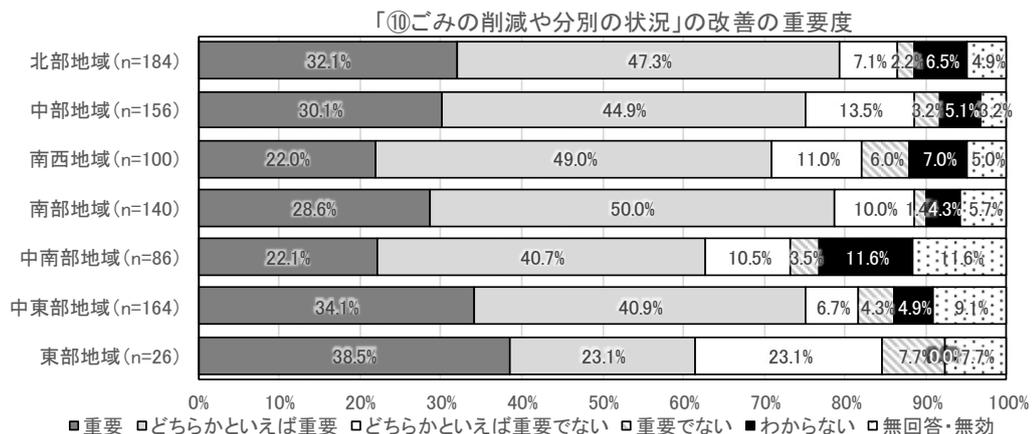
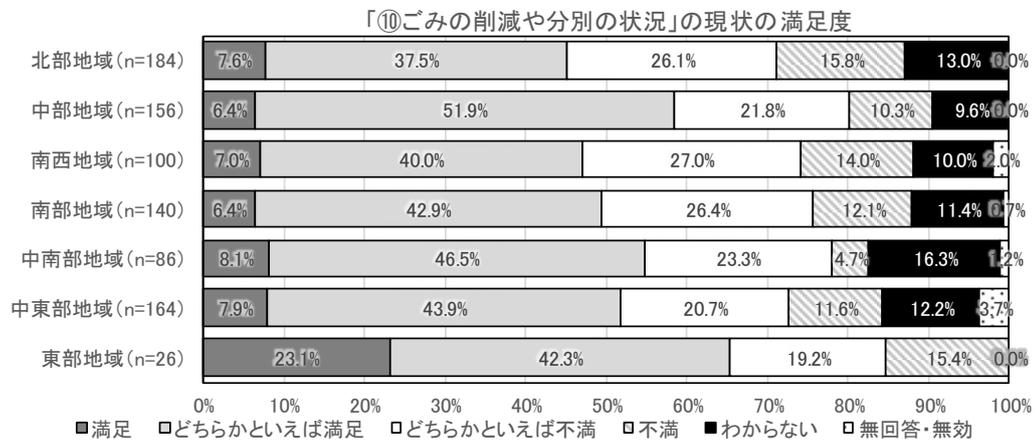
②環境に関する情報の入手しやすさ



⑤ 「自然」とふれあう機会



⑩ ごみの削減や分別の状況



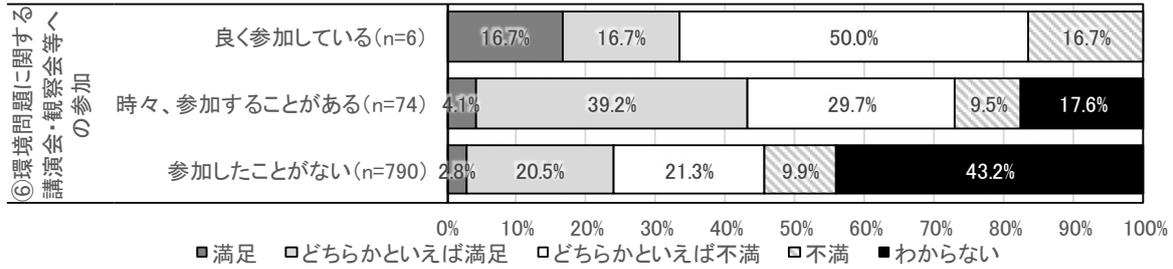
3. 第4問関係 クロス集計結果（問6：環境保全活動の参加別）

「①環境問題について学ぶ機会」と「⑤「自然」とふれあう機会」の現状の満足度は、環境保全活動に良く参加している人の方が、「どちらかといえば不満」、「不満」と答えた割合が大きく、改善の重要度は、参加したことがない人の方が、「重要」、「どちらかといえば重要」と答えた割合が低い。

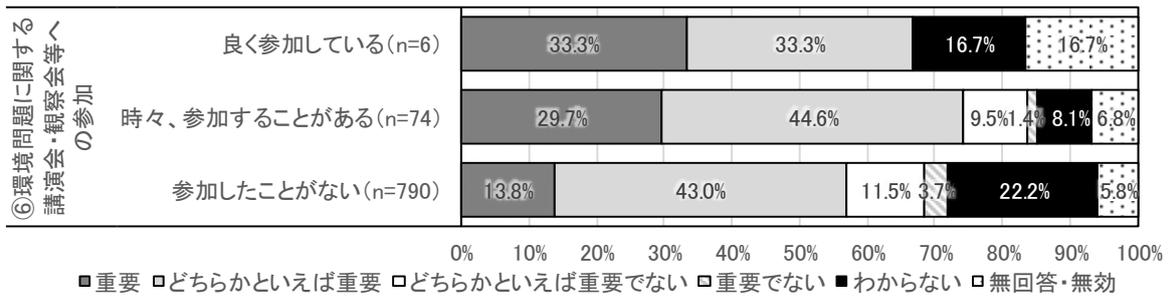
「⑧まちの美観」と「⑩河川や水辺の状況」の現状の満足度は、環境保全活動に良く参加している人の方が、「満足」、「どちらかといえば満足」と答えた割合が大きい。

①環境問題について学ぶ機会

「①環境問題について学ぶ機会」の現状の満足度

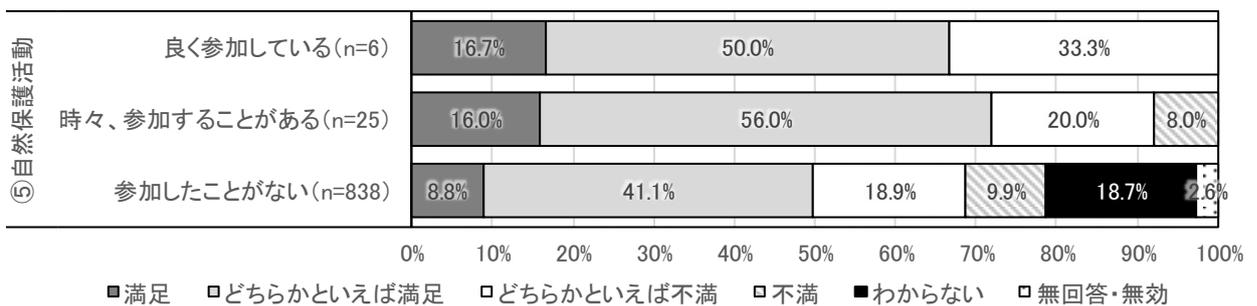


「①環境問題について学ぶ機会」の改善の重要度

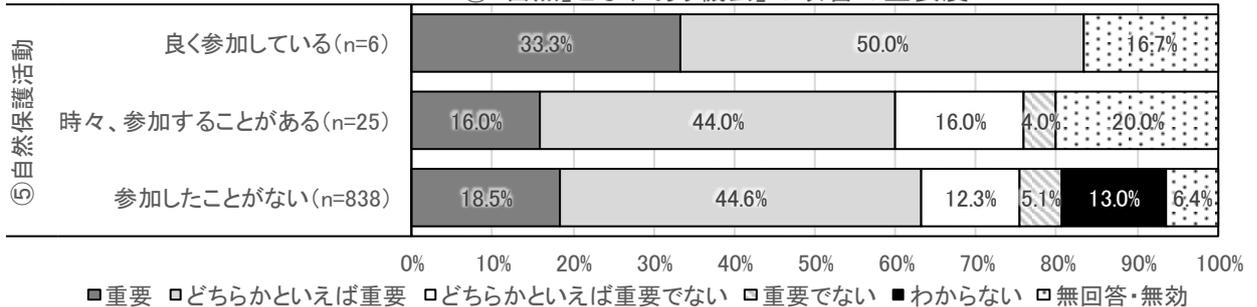


⑤「自然」とふれあう機会

「⑤「自然」とふれあう機会」の現状の満足度

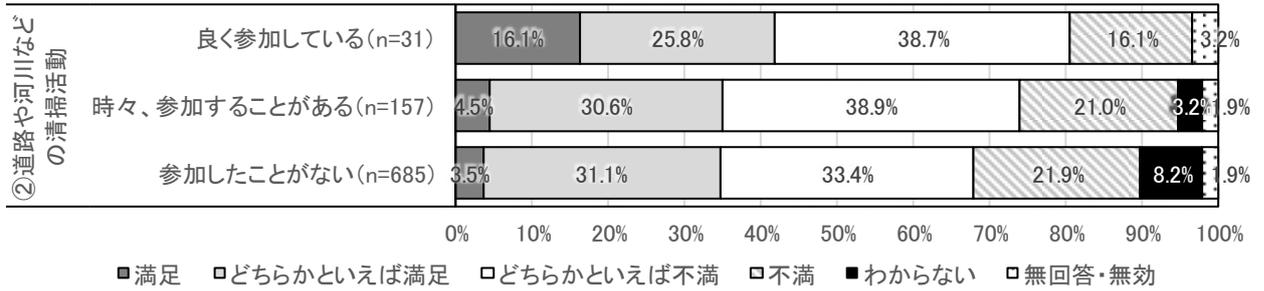


「⑤「自然」とふれあう機会」の改善の重要度

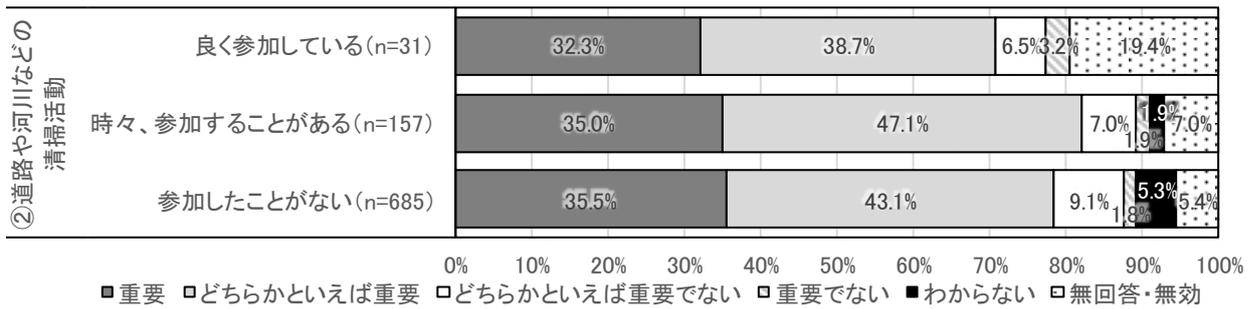


⑧まちの美観

「⑧まちの美観」の現状の満足度

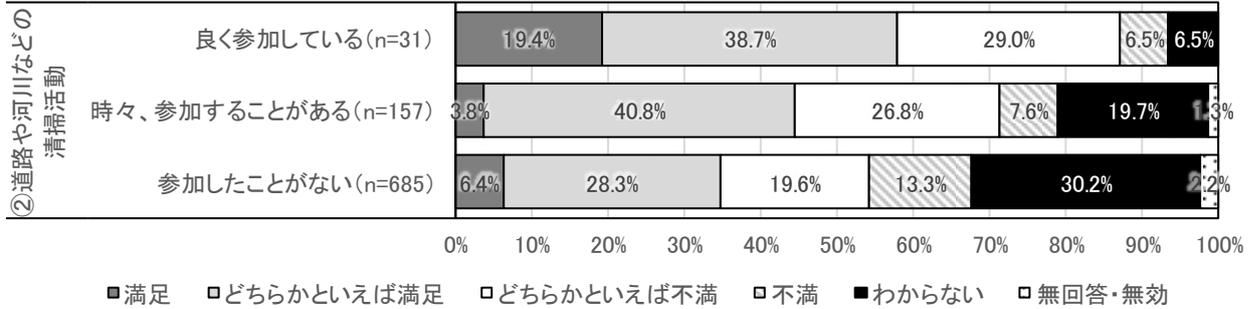


「⑧まちの美観」の改善の重要度

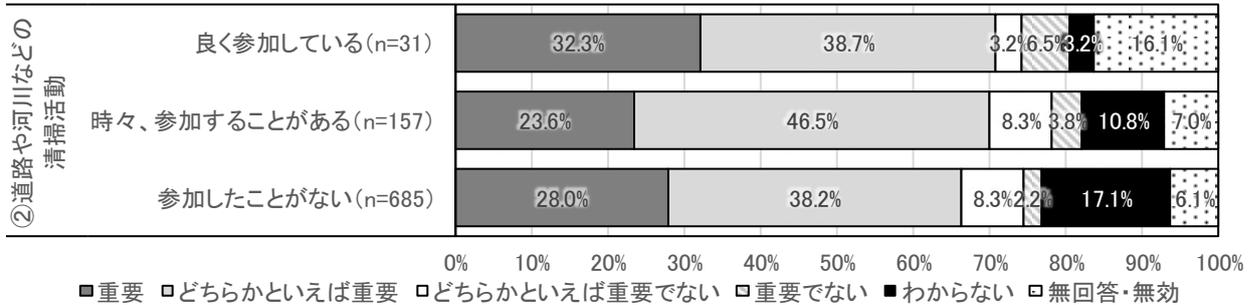


⑪河川や水辺の状況

「⑪河川や水辺の状況」の現状の満足度



「⑪河川や水辺の状況」の改善の重要度

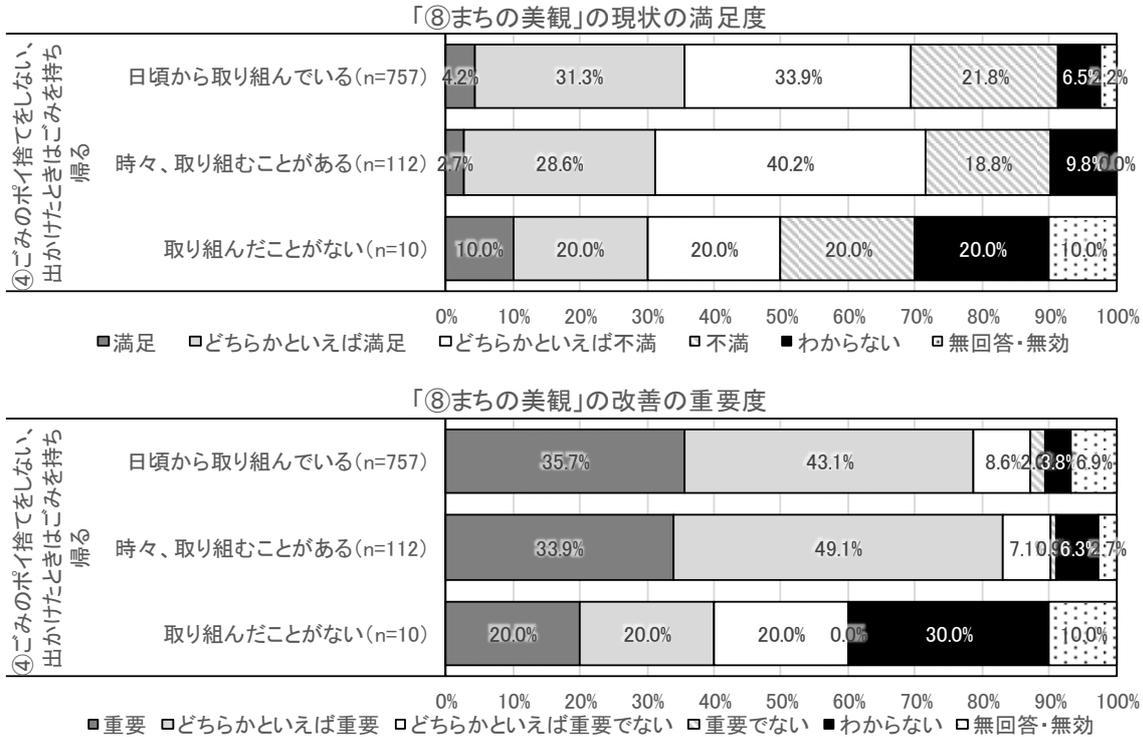


4. 第4問関係 クロス集計結果（問7：日常に行っている環境保全の行動の有無別）

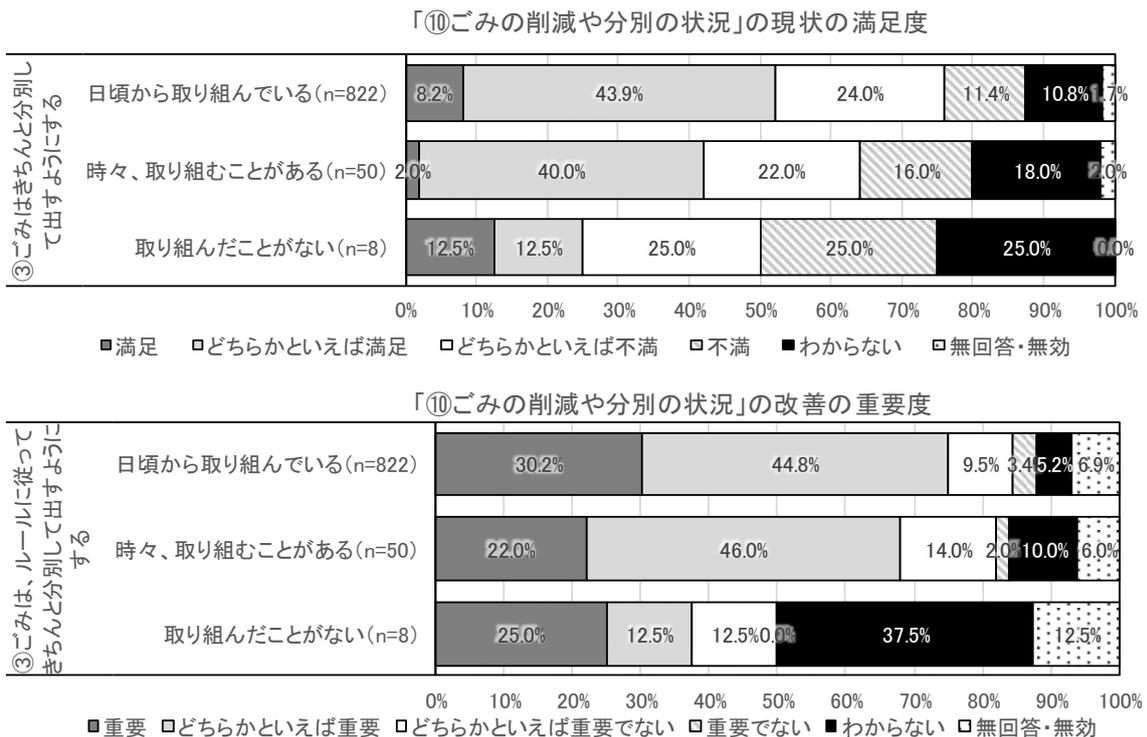
身の回りの環境について現状の満足度は、環境保全行動を日頃から取り組んでいる人ほど、「満足」、「どちらかといえば満足」と答えた割合が大きい傾向にある。

身の回りの環境について改善の重要度は環境保全行動に日頃から取り組んがことがない人ほど、「重要」、「どちらかといえば重要」と答えた割合が小さい。

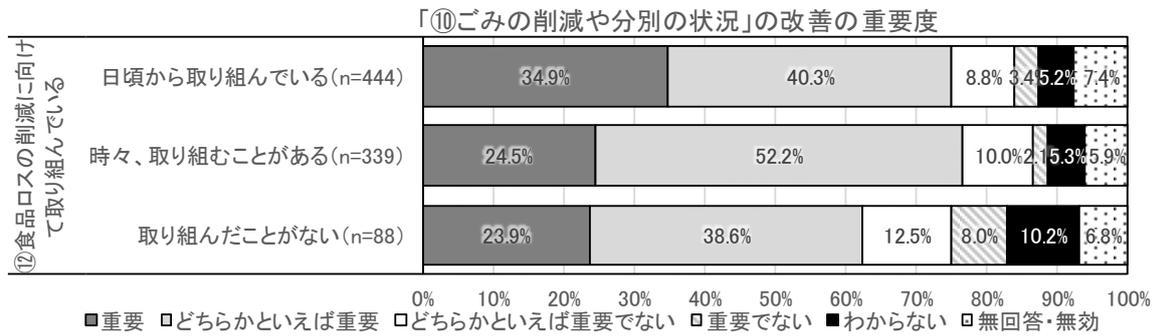
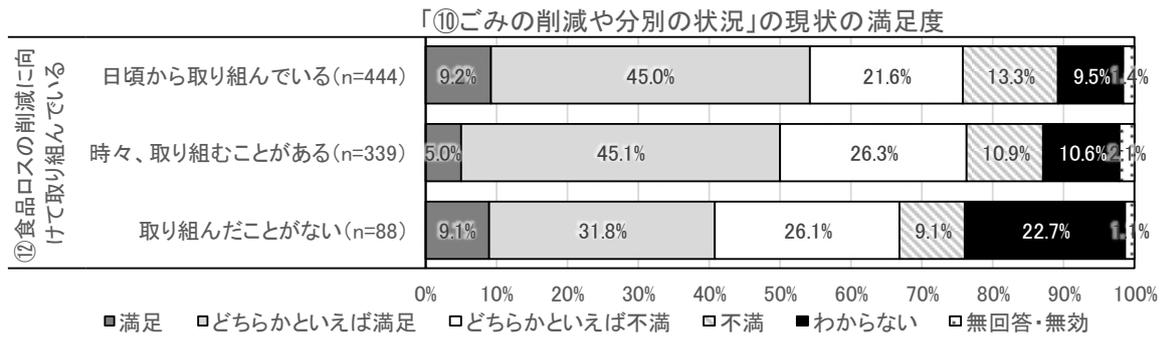
⑧まちの美観



⑩ごみの削減や分別の状況 A



⑩ごみの削減や分別の状況 B



5. 第4問関係 クロス集計結果（問6・7による環境意識の違い）

満足度・重要度に対する評価の数値は、以下の算式にて求めています。

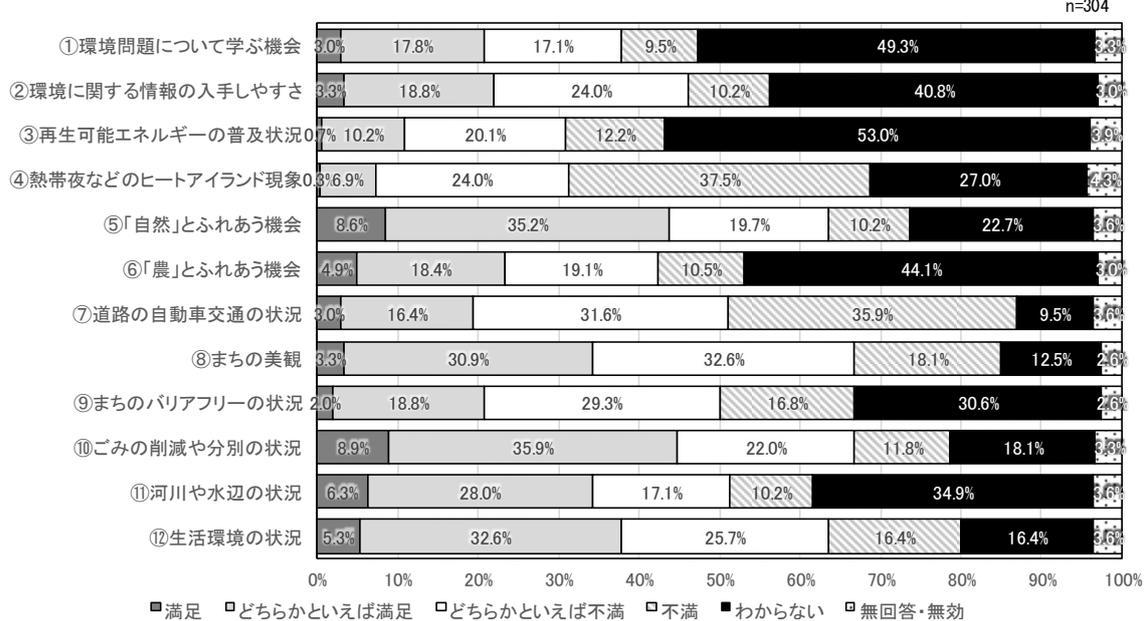
環境意識 = 「良く参加している」、「日頃から取り組んでいる」×3点 + 「時々、参加することがある」、「時々、取り組むことがある」×2点 + 「参加したことがない」、「取り組んだことがない」×1点

環境意識が高い層を40点以上、環境意識が低い層が40点より小さいとして傾向を見た。

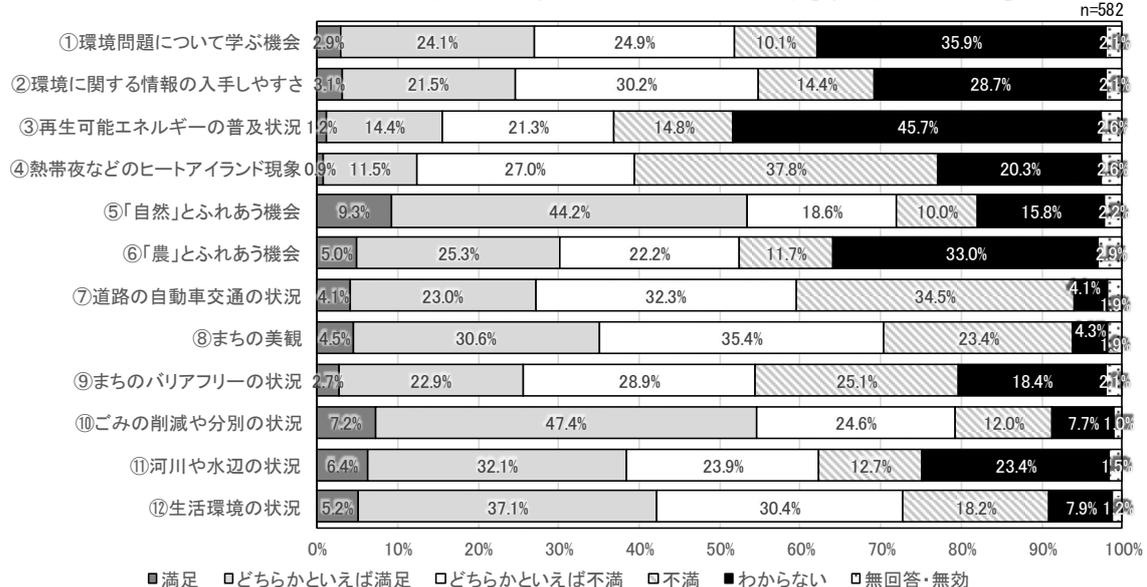
身の回りの環境について現状の満足度は、環境意識が高い人と、環境意識が低い人に大きな差はない。
身の回りの環境について改善の重要度は、環境意識が高い人ほと、「重要」、「どちらかといえば重要」と答えた割合が大きい傾向にある。

現状の満足度

問4.あなたの身の回りの環境について、現状の満足度【環境意識が低い層】



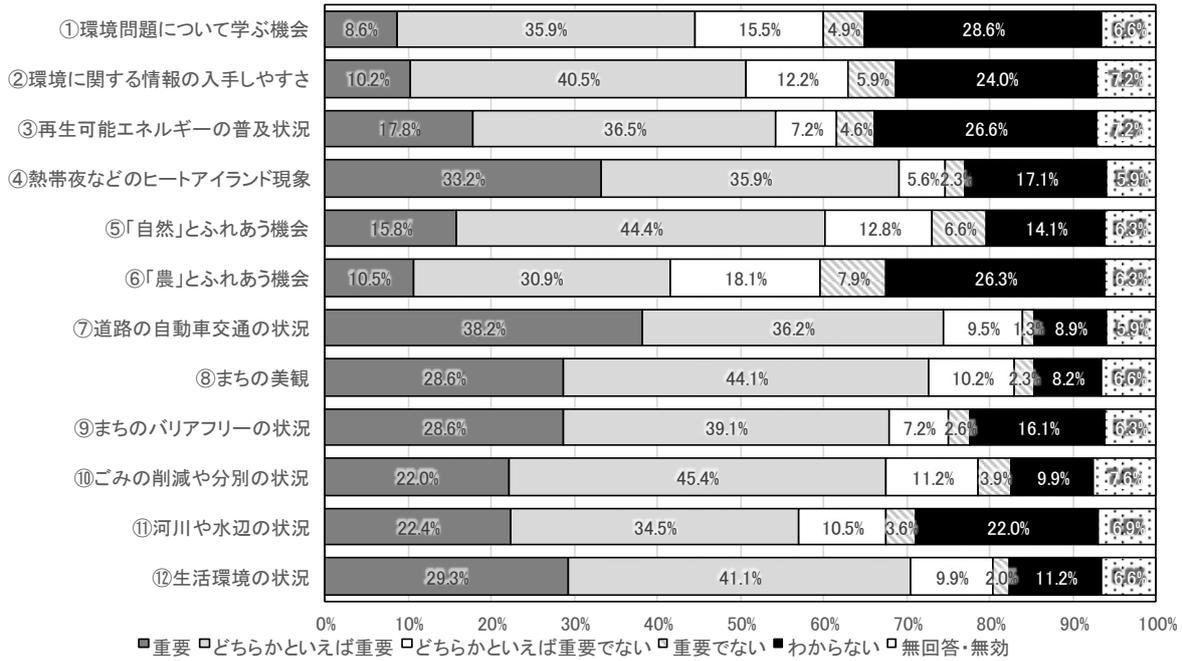
問4.あなたの身の回りの環境について、現状の満足度【環境意識が高い層】



改善の重要度

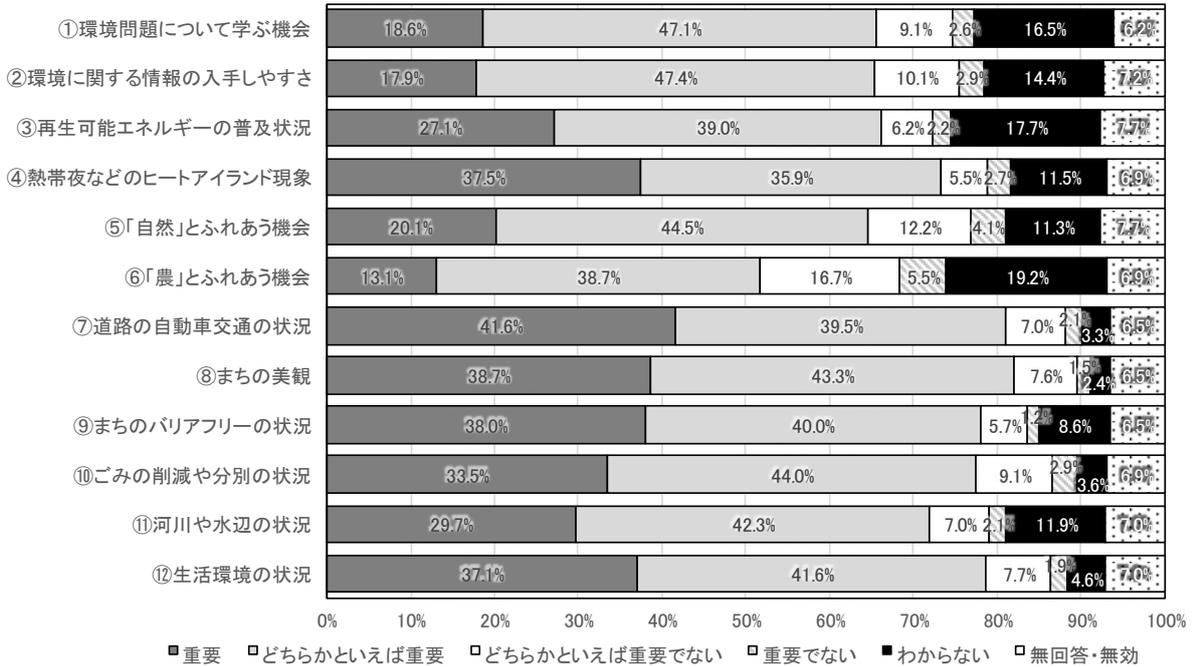
問4.あなたの身の回りの環境について、改善の重要度【環境意識が低い層】

n=304



問4.あなたの身の回りの環境について、改善の重要度【環境意識が高い層】

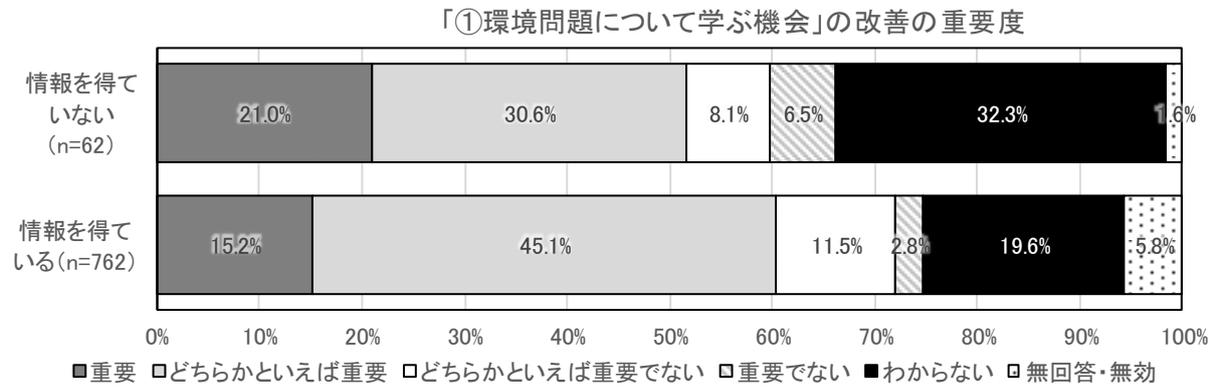
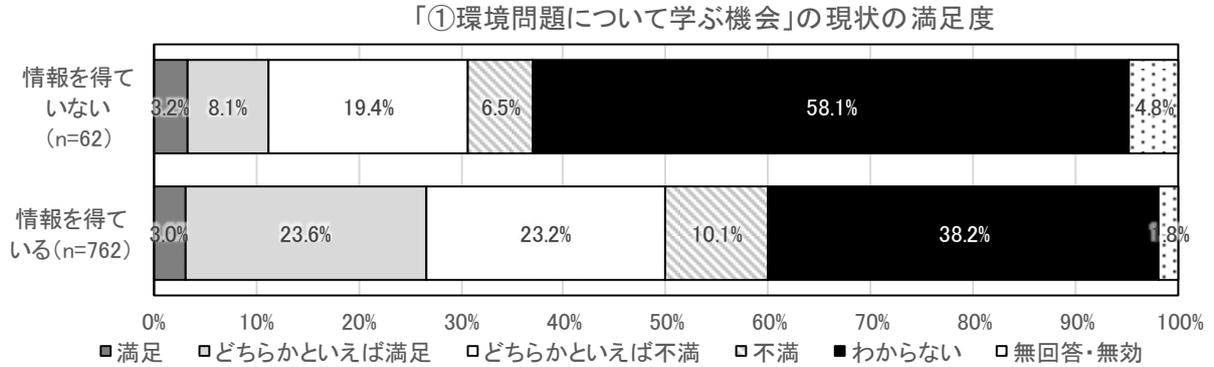
n=582



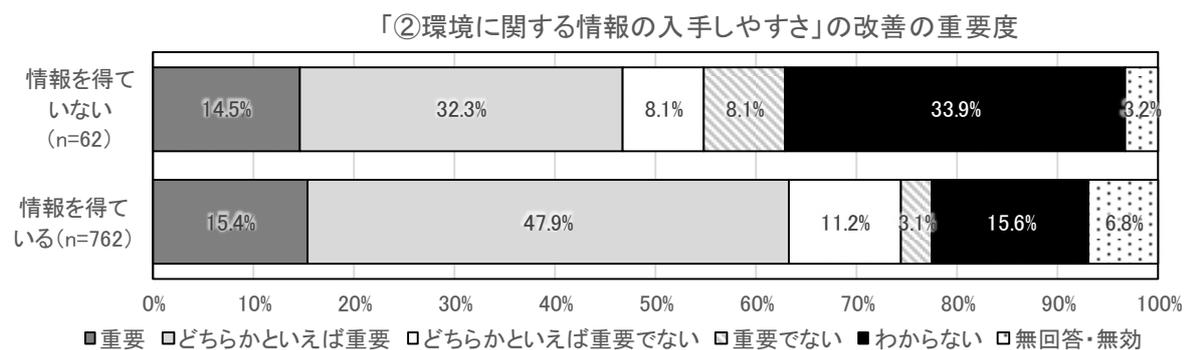
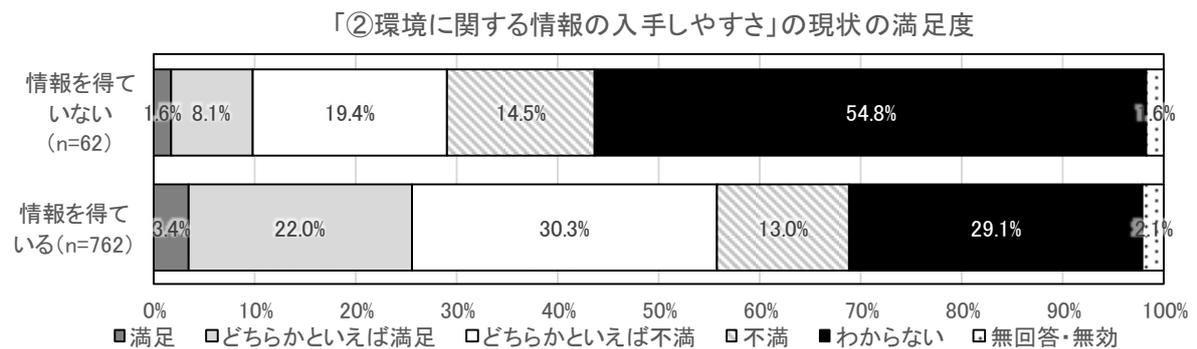
6. 第4問関係 クロス集計結果（問9：「環境」に関する情報の取得別）

身の回りの環境について現状の満足度は、情報を得ている人ほど「満足」、「どちらかといえば満足」と答える割合が大きく、改善の重要度も「重要」、「どちらかといえば重要」と答える割合が大きい。
「わからない」と答える割合は、情報を得ていない人ほど割合が多い。

①環境問題について学ぶ機会

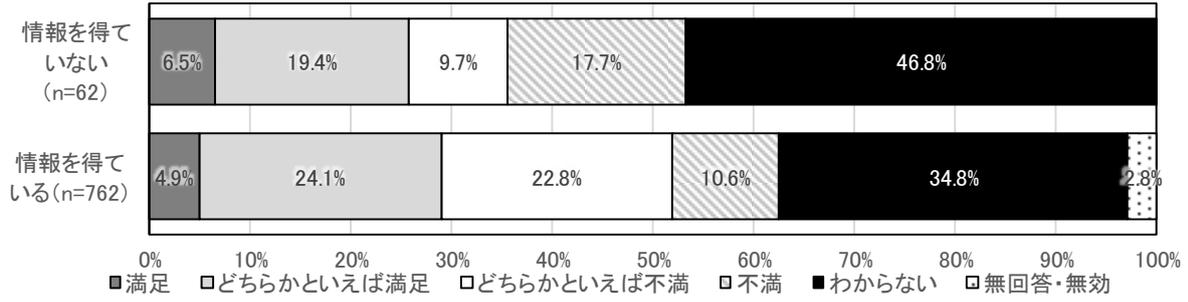


②環境に関する情報の入手しやすさ

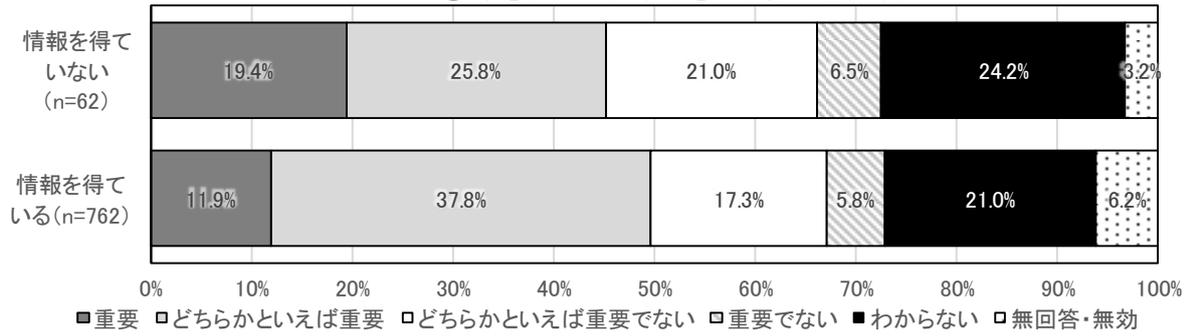


⑥「農」とふれあう機会

「⑥「農」とふれあう機会」の現状の満足度



「⑥「農」とふれあう機会」の改善の重要度



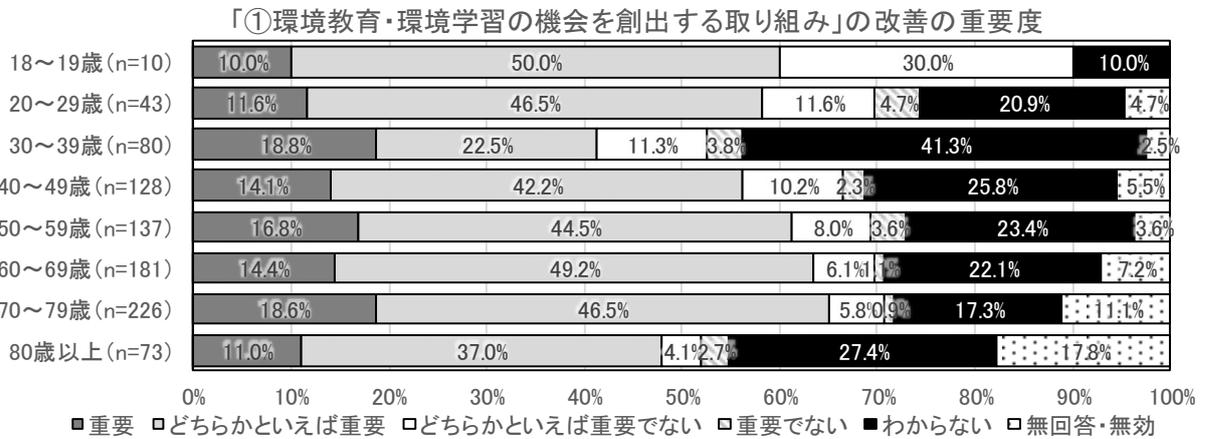
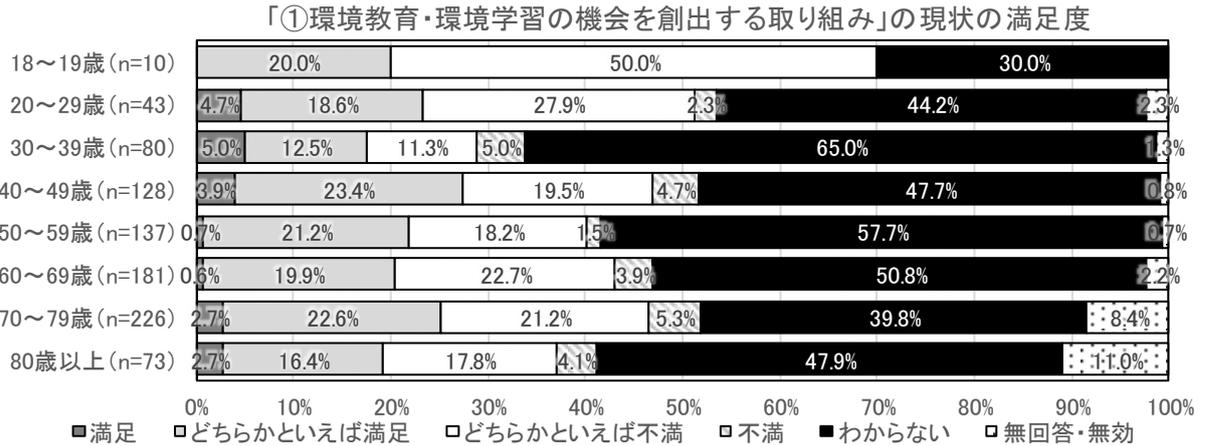
7. 第5問関係 クロス集計結果（問2：年齢別）

「①環境教育・環境学習の機会を創出する取り組み」は、30～39歳で「満足」、「どちらかといえば満足」、「重要」、「どちらかといえば重要」と答えた割合が共に低い。

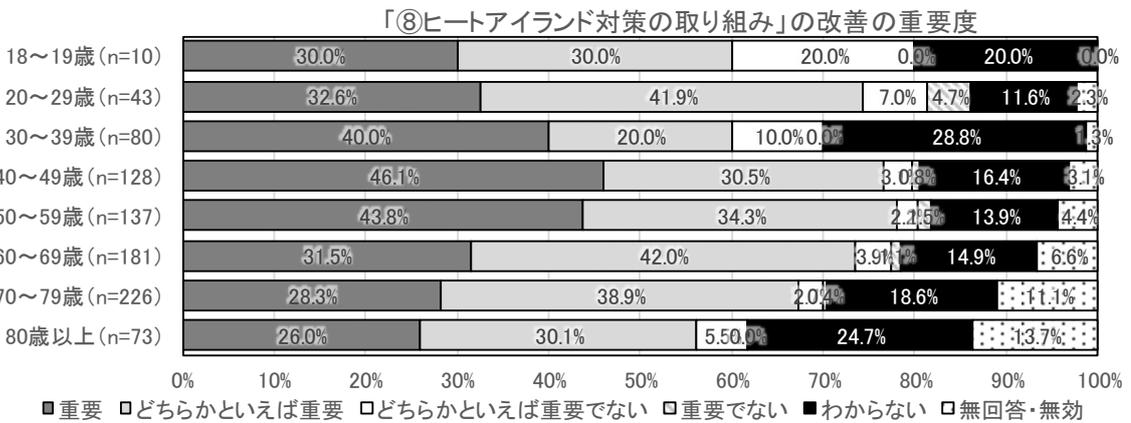
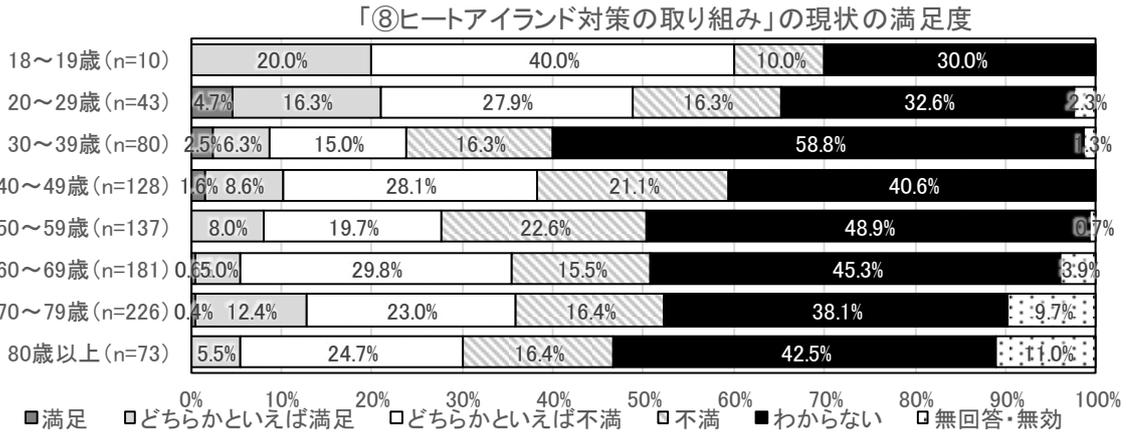
「⑧ヒートアイランド対策の取り組み」は、20～29歳、40～49歳、50～59歳、60歳～69歳で「重要」、「どちらかといえば重要」と答える割合が大きい。

「⑨生態系の保全の取り組み」と「⑩自然とのふれあいの場の確保の取り組み」は、年齢が上がるにつれて、「満足」と答える割合が小さくなる傾向にある。

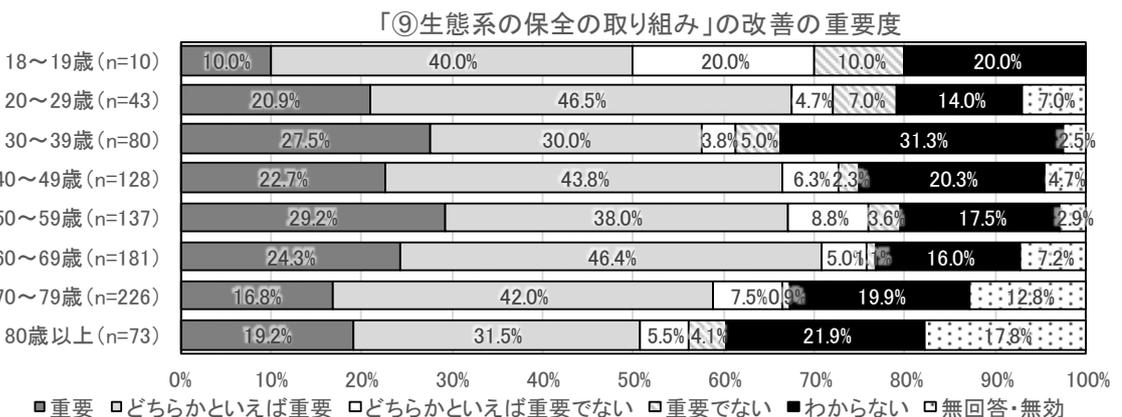
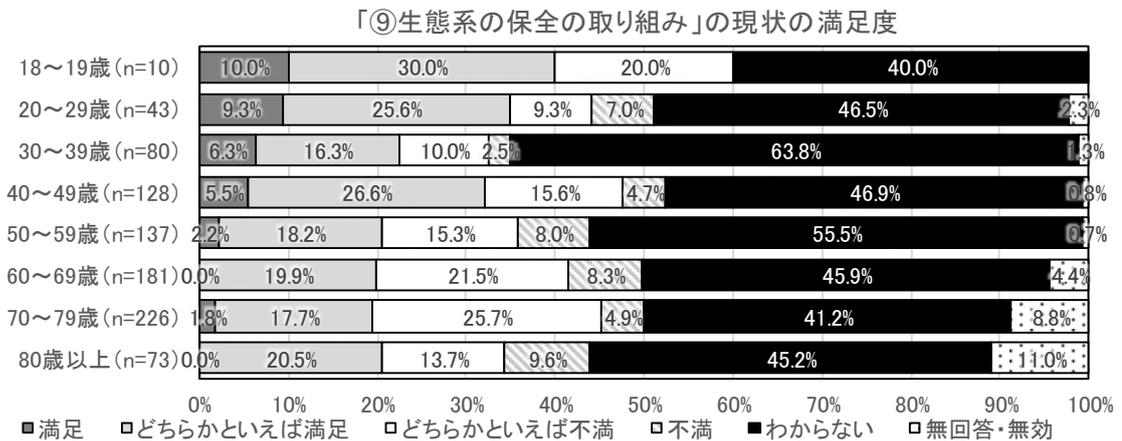
①環境教育・環境学習の機会を創出する取り組み



⑧ ヒートアイランド対策の取り組み

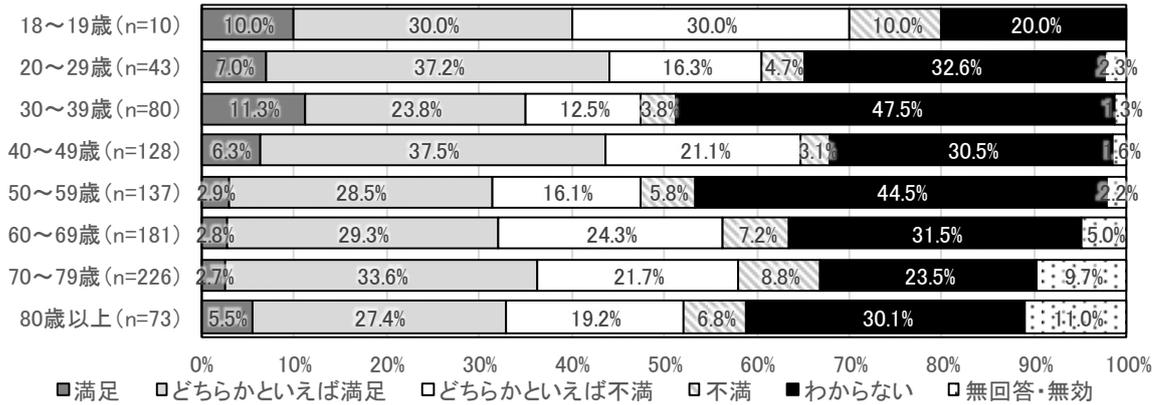


⑨ 生態系の保全の取り組み

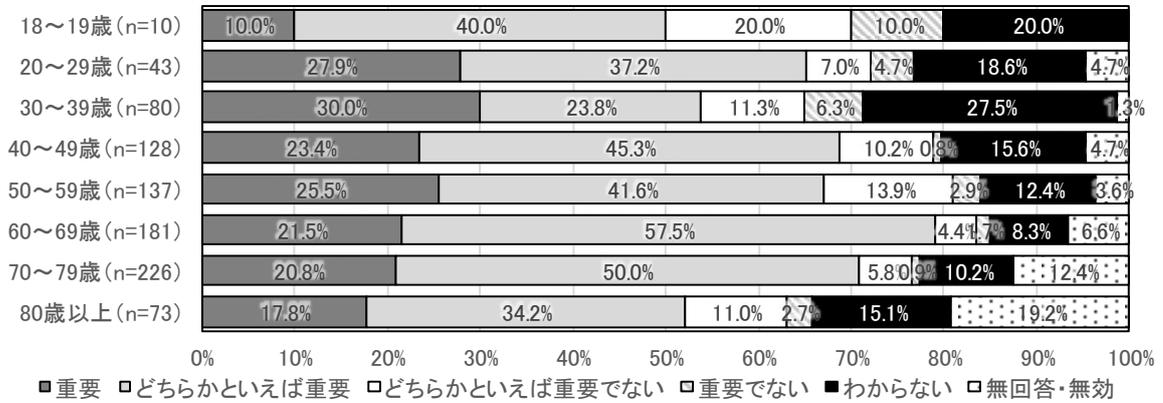


⑪自然とのふれあいの場の確保の取り組み

「⑪自然とのふれあいの場の確保の取り組み」の現状の満足度



「⑪自然とのふれあいの場の確保の取り組み」の改善の重要度



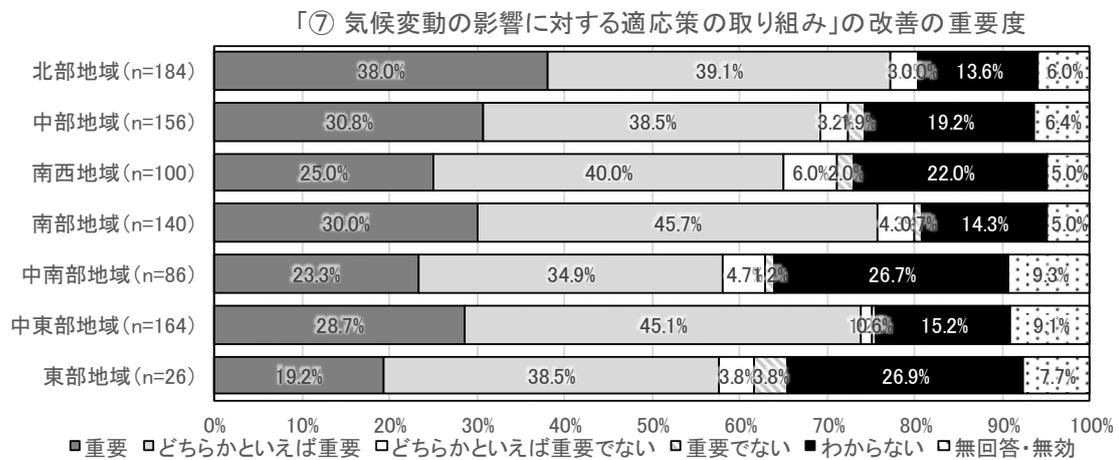
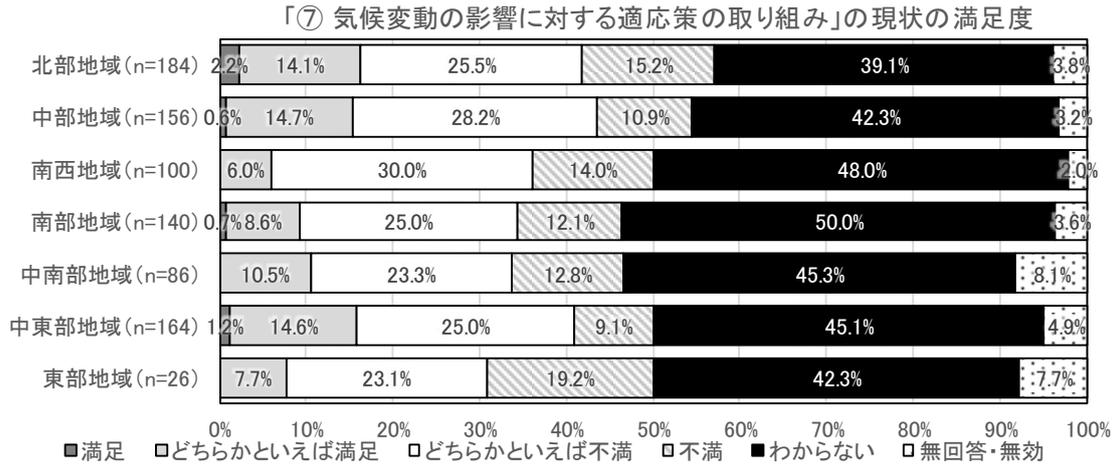
8. 第5問関係 クロス集計結果（問3：地域別）

「⑦ 気候変動の影響に対する適応策の取り組み」は、南西部地域と東部地域が「満足」、「どちらかといえば満足」と答えた割合が小さい。

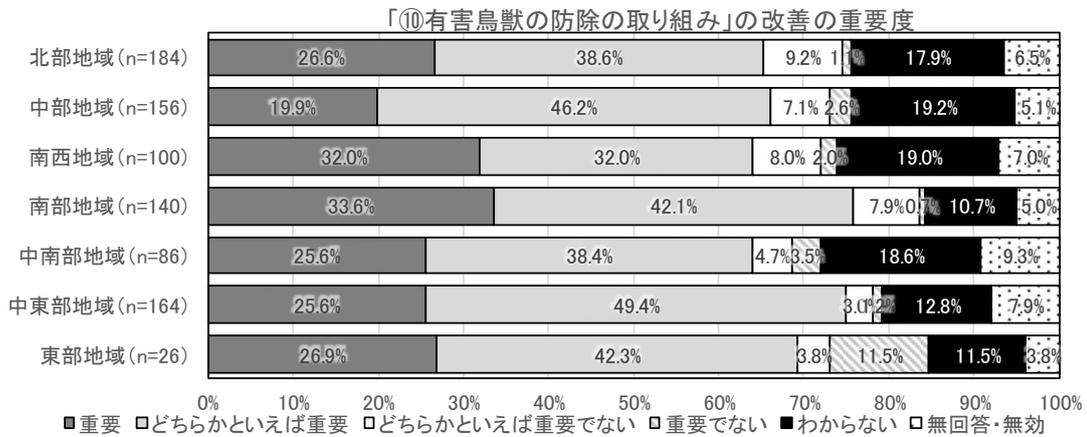
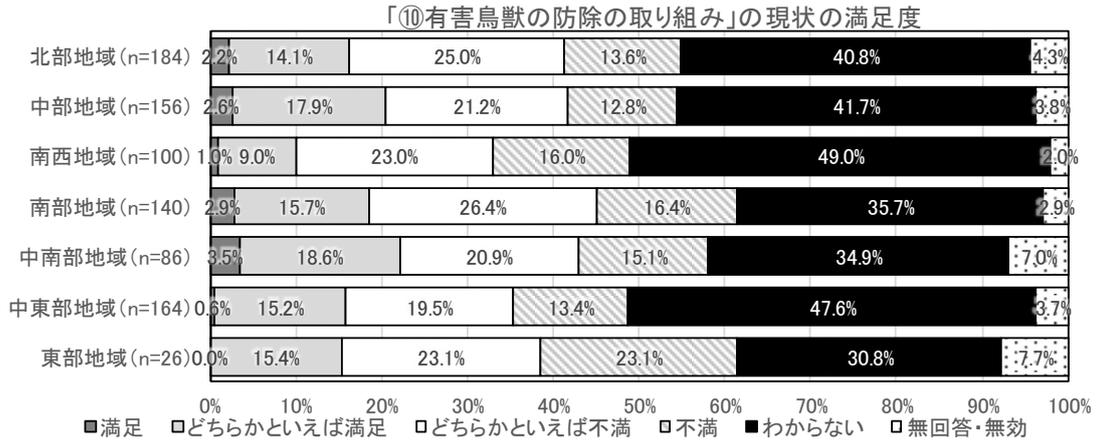
「⑩有害鳥獣の防除の取り組み」と「⑫みどりの保全と創出の取り組み」について、南西地域と「満足」、「どちらかといえば満足」と答えた割合低い。

「⑬環境美化の取り組み」について、中東部地域が「不満」、「どちらかといえば不満」と答えた割合大きい。

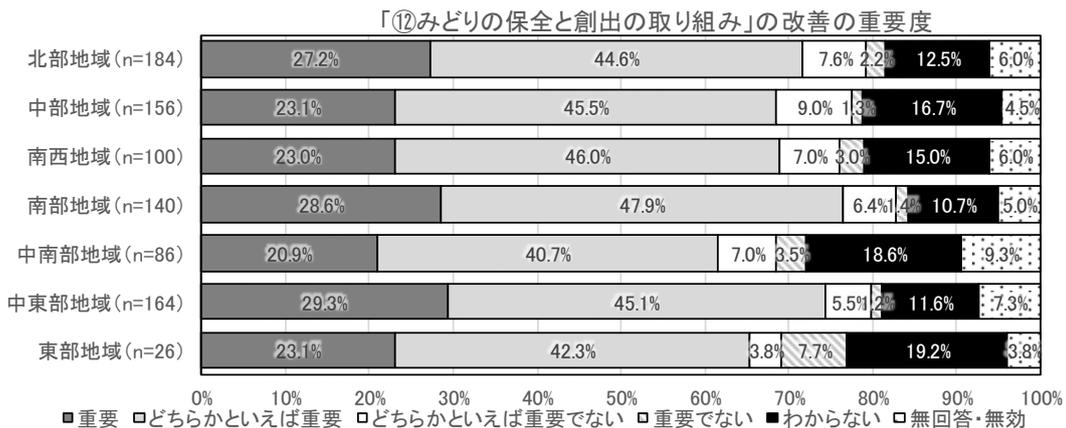
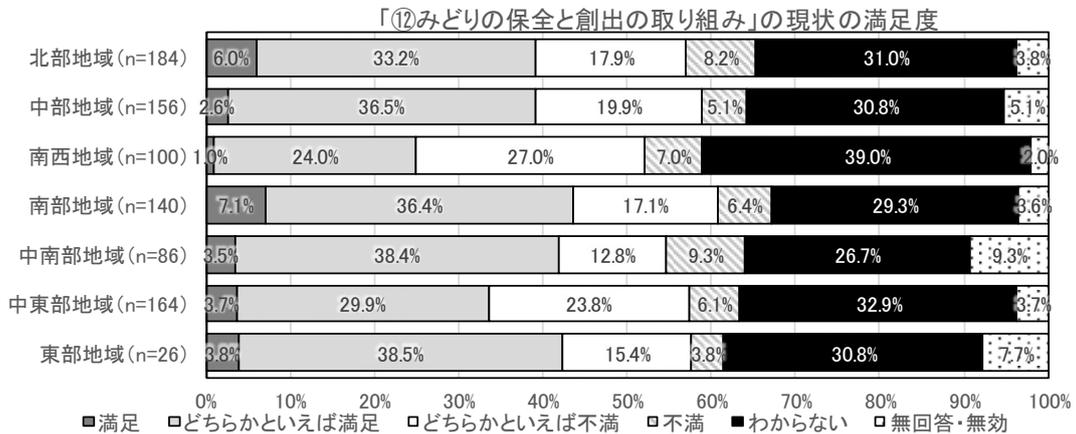
⑦ 気候変動の影響に対する適応策の取り組み



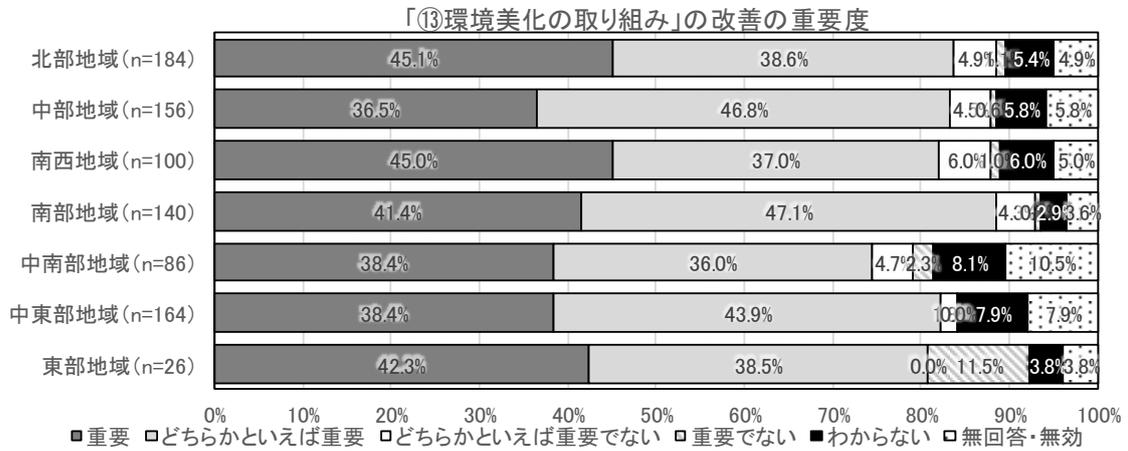
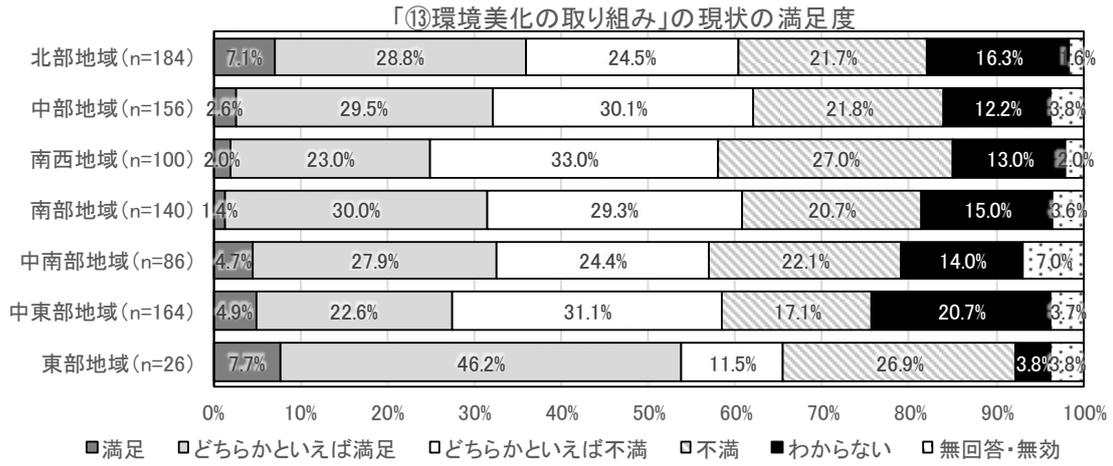
⑩有害鳥獣の防除の取り組み



⑫みどりの保全と創出の取り組み



⑬環境美化の取り組み

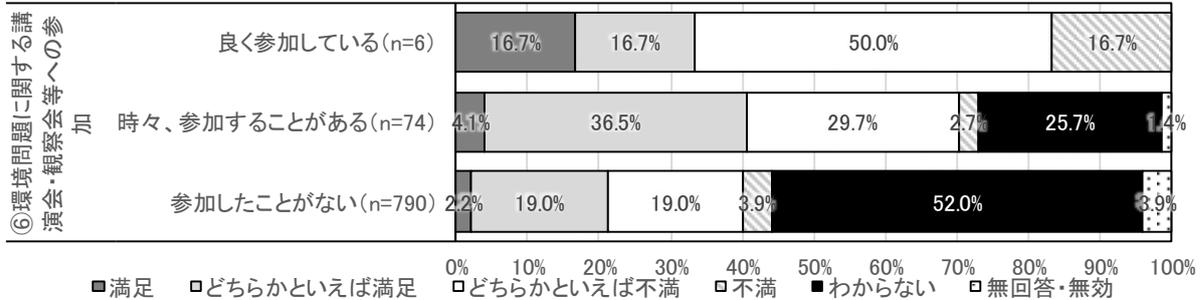


9. 第5問関係 クロス集計結果（問6：環境保全活動の参加別）

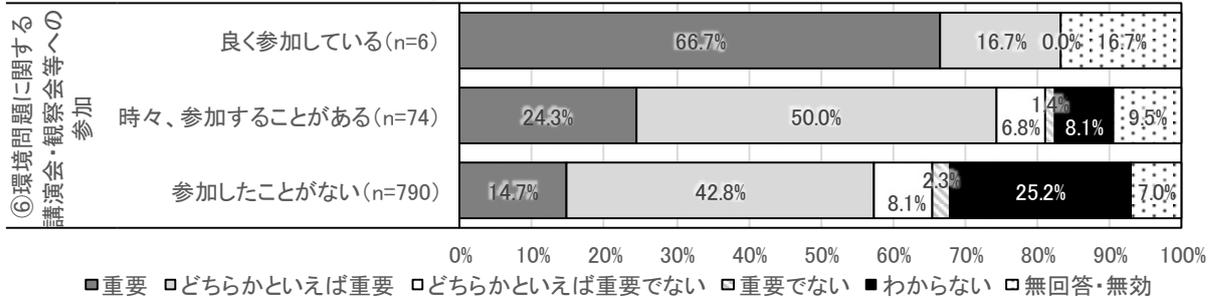
枚方市の環境の取り組みについての現状の満足度は、環境保全活動に良く参加している人の方が、「どちらかといえば不満」、「不満」と答えた割合が大きい傾向にあり、改善の重要度は、参加したことがない人の方が、「重要」、「どちらかといえば重要」と答えた割合が小さい傾向にある。

①環境教育・環境学習の機会を創出する取り組み

「①環境教育・環境学習の機会を創出する取り組み」の現状の満足度

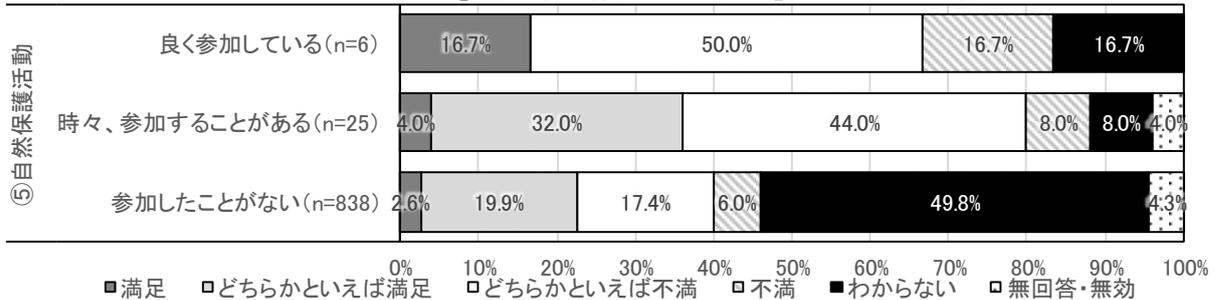


「①環境教育・環境学習の機会を創出する取り組み」の改善の重要度

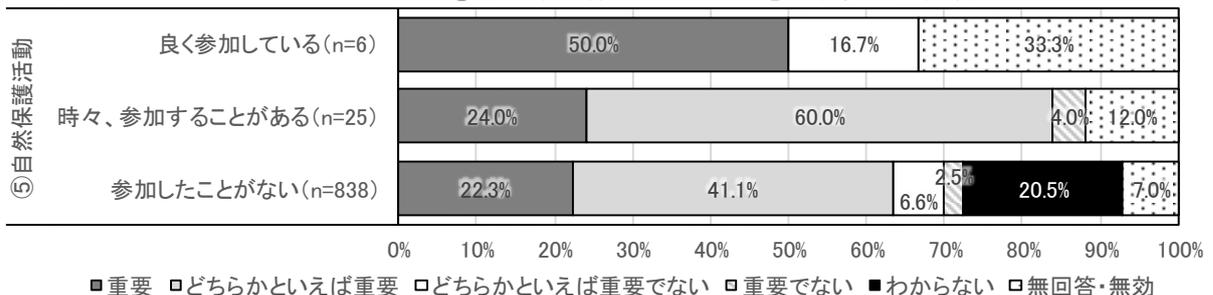


⑨生態系の保全の取り組み

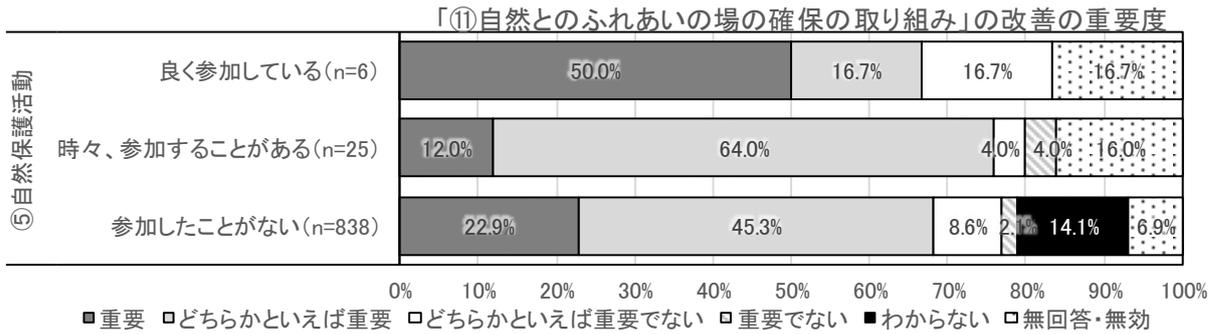
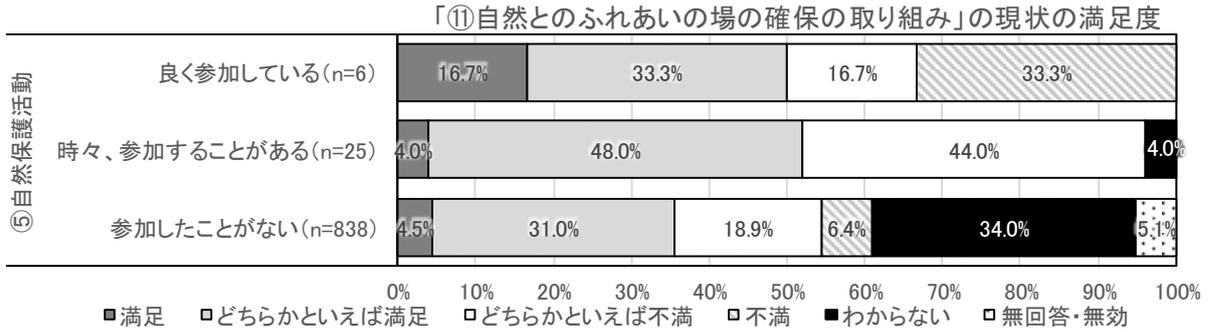
「⑨生態系の保全の取り組み」の現状の満足度



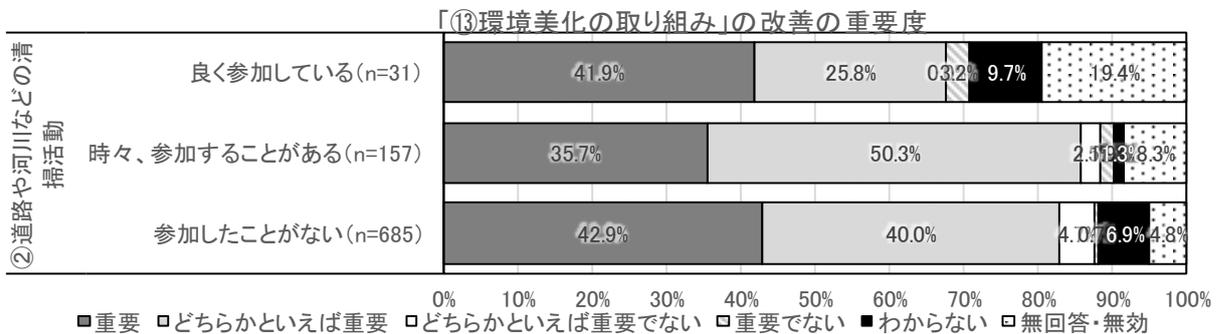
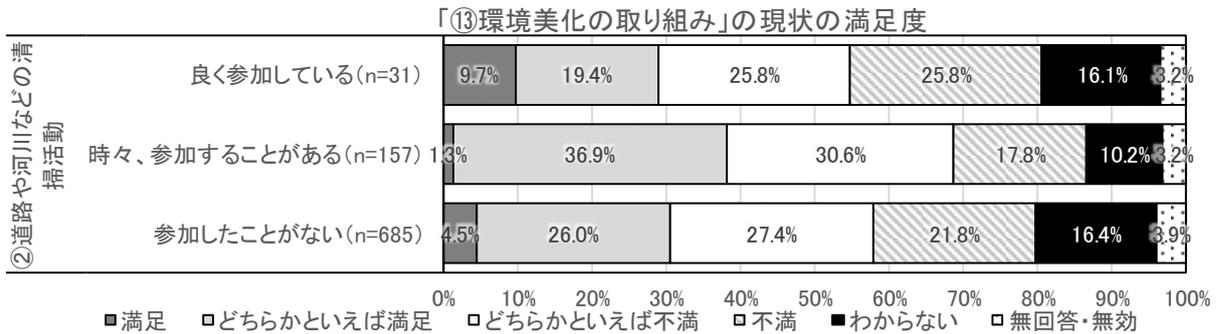
「⑨生態系の保全の取り組み」の改善の重要度



⑪自然とのふれあいの場の確保の取り組み



⑬環境美化の取り組み

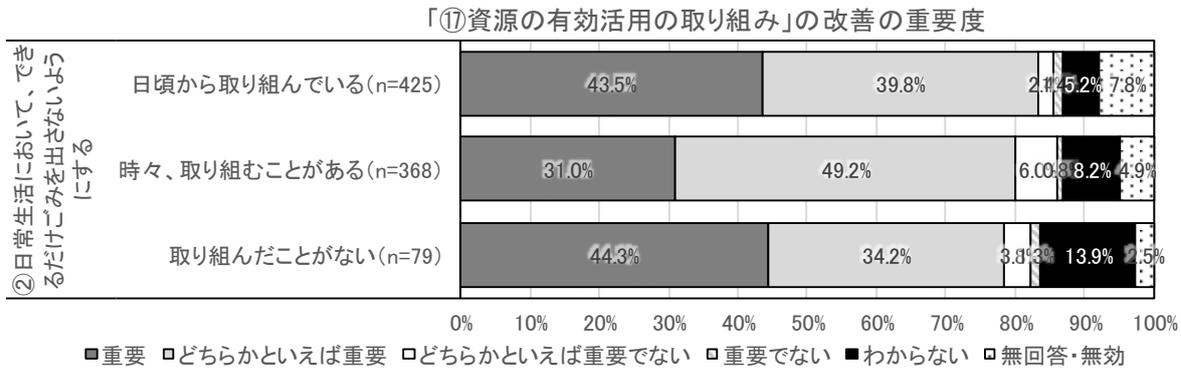
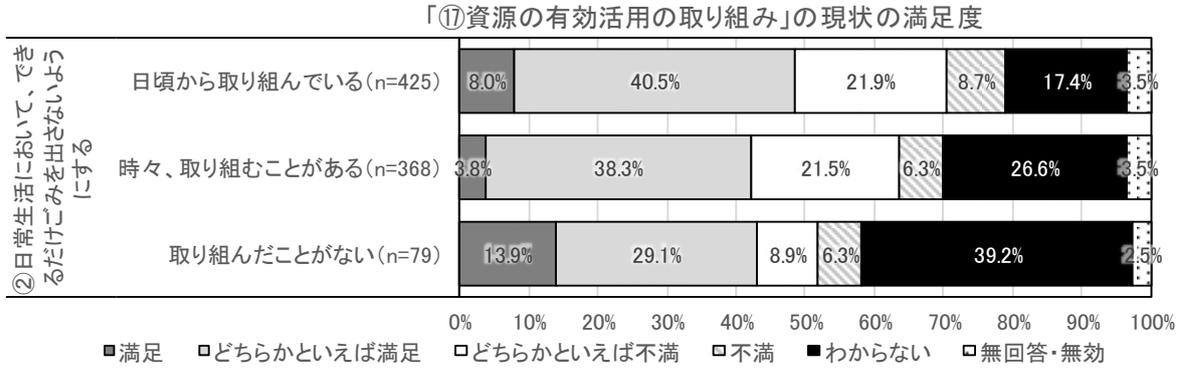


9. 第5問関係 クロス集計結果（問7：日常に行っている環境保全の行動の有無別）

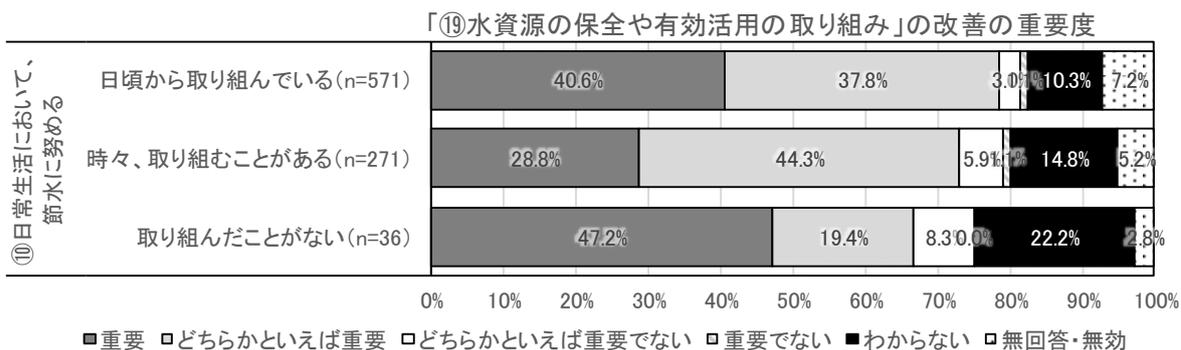
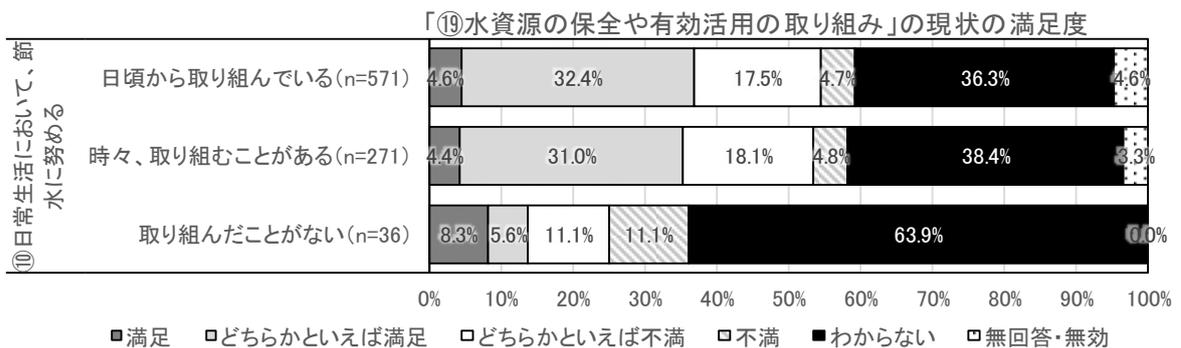
環境の取組みの現状の満足度については、環境保全行動に日頃から取り組んでいる人ほど、「満足」、「どちらかといえば満足」と答えた割合が大きい傾向にある。

環境の取組みの改善の重要度は環境保全行動に日頃から取り組んがことがない人ほど、「重要」、「どちらかといえば重要」と答えた割合が小さい傾向にある。

⑰資源の有効活用の取り組み

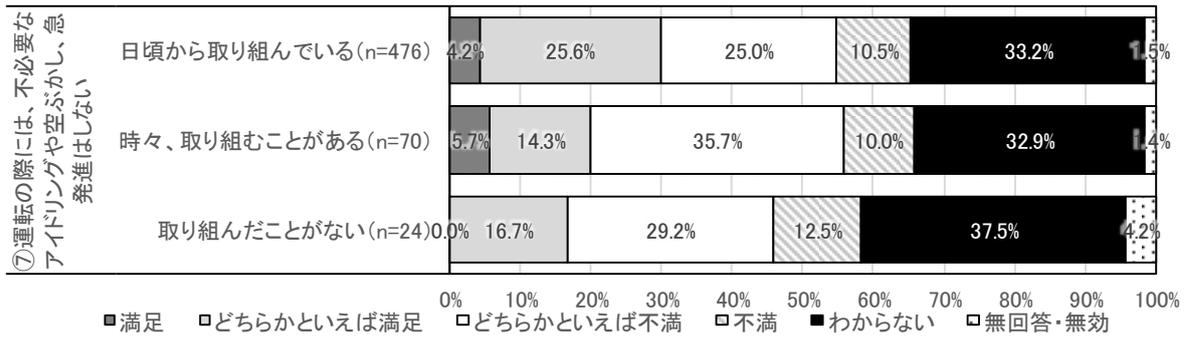


⑱水資源の保全や有効活用の取り組み

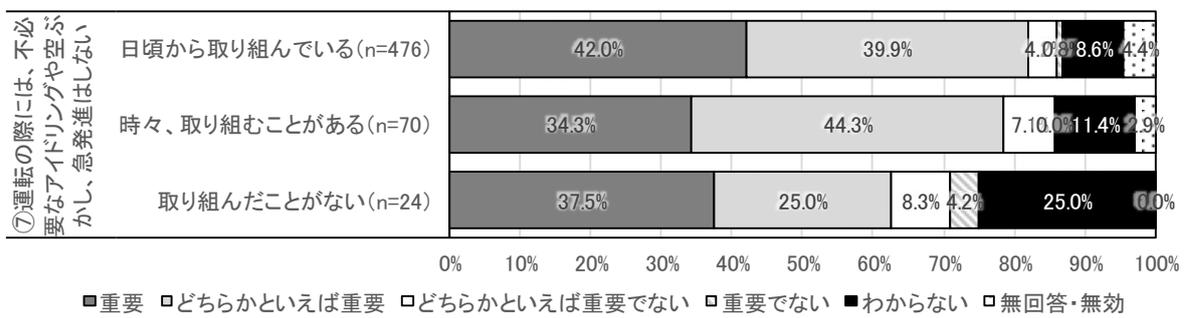


⑳公害対策の推進

「⑳公害対策の推進」の現状の満足度



「⑳公害対策の推進」の改善の重要度



10. 第5問関係 クロス集計結果（問6・7による環境意識の違い）

満足度・重要度に対する評価の数値は、以下の算式にて求めています。

環境意識 = 「良く参加している」、「日頃から取り組んでいる」×3点 + 「時々、参加することがある」、「時々、取り組むことがある」×2点 + 「参加したことがない」、「取り組んだことがない」×1点

環境意識が高い層を40点以上、環境意識が低い層が40点より小さいとして傾向を見た。

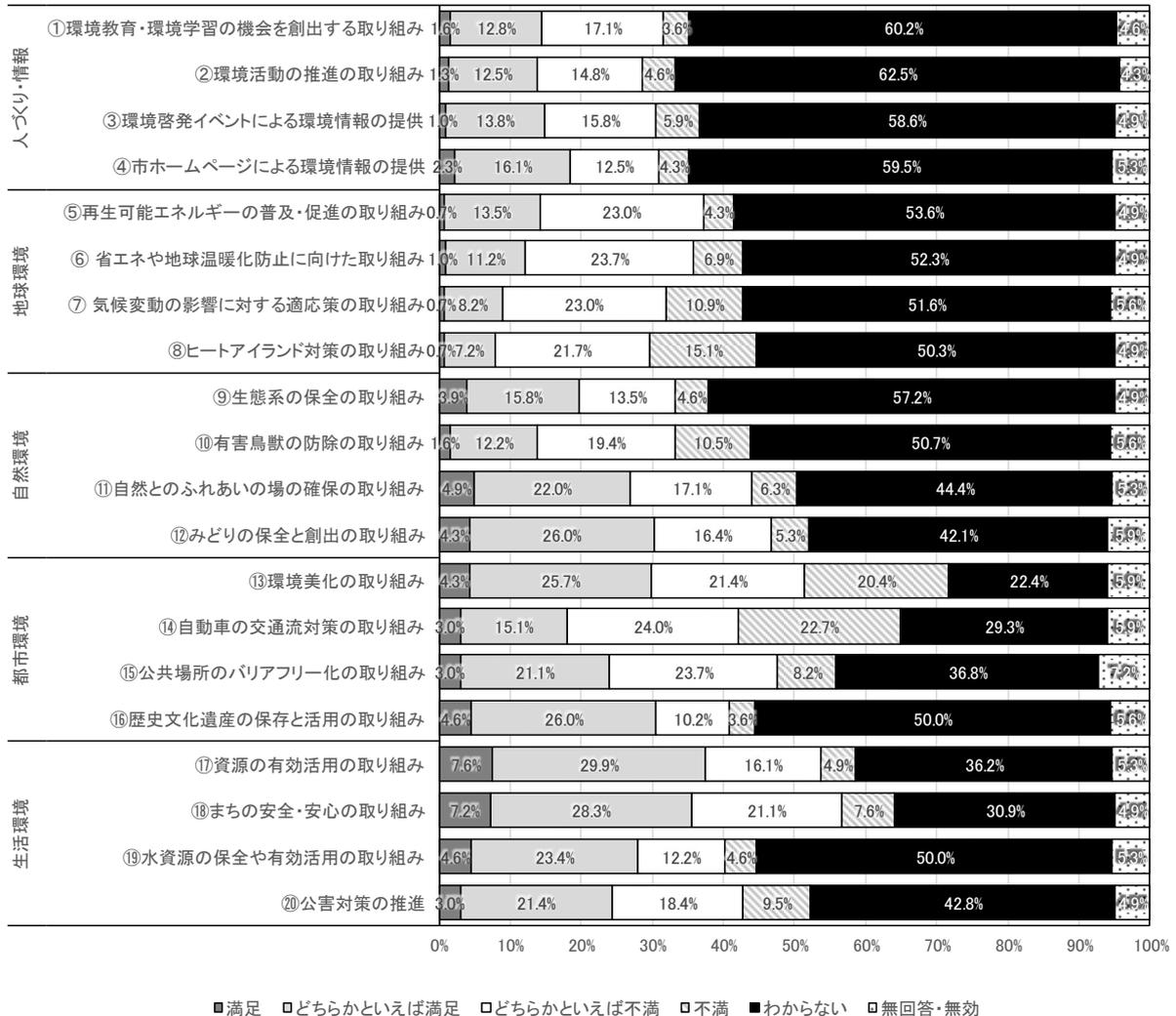
身の回りの環境について現状の満足度は、環境意識が高い人ほど「満足」、「どちらかといえば満足」と答えた割合が大きい傾向にある。

身の回りの環境について改善の重要度は、環境意識が高い人ほど、「重要」、「どちらかといえば重要」と答えた割合が大きい傾向にある。

現状の満足度

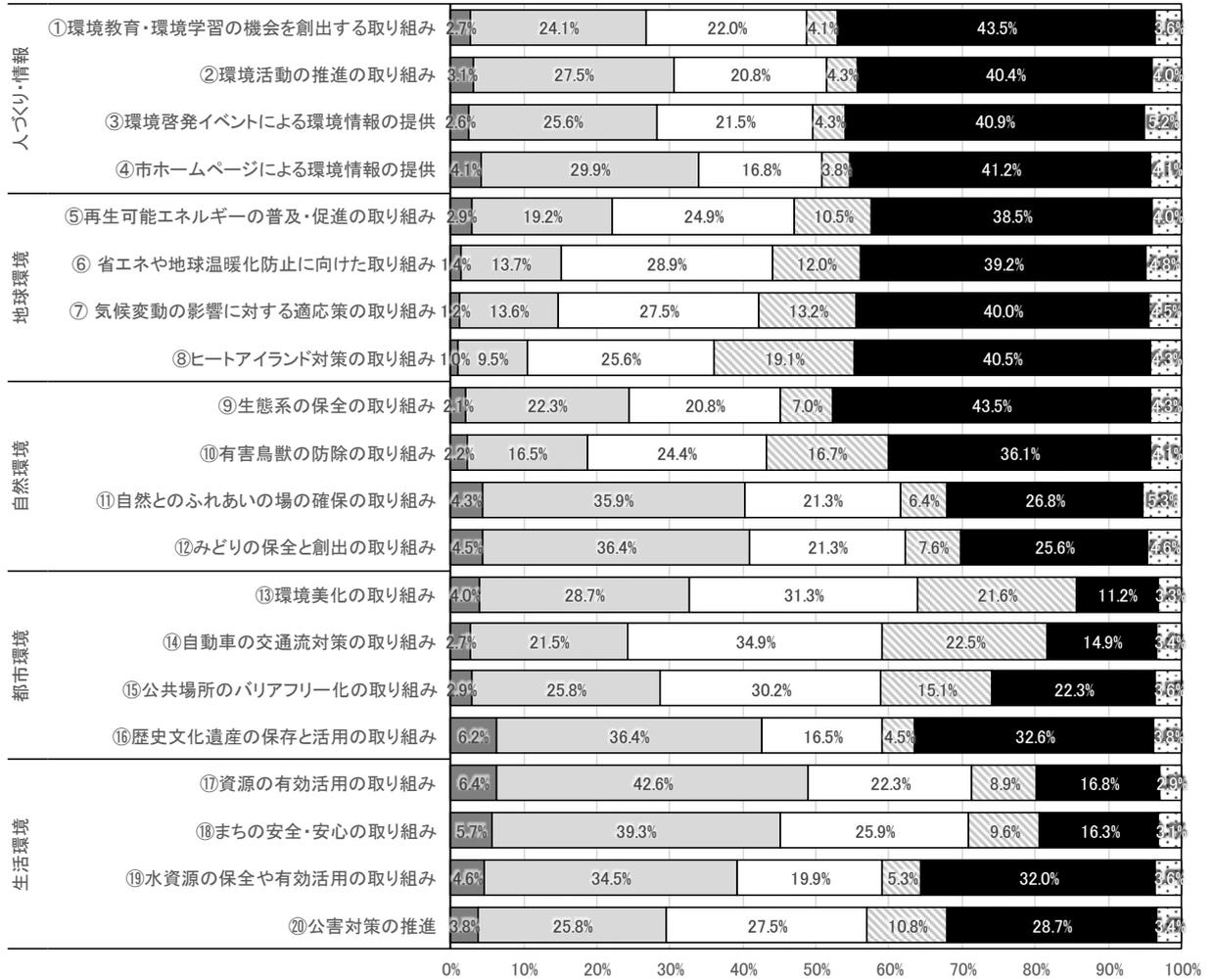
問5.枚方市の環境の取り組みについての満足度【環境意識が低い層】

n=304



問5.枚方市の環境の取り組みについての満足度【環境意識が高い層】

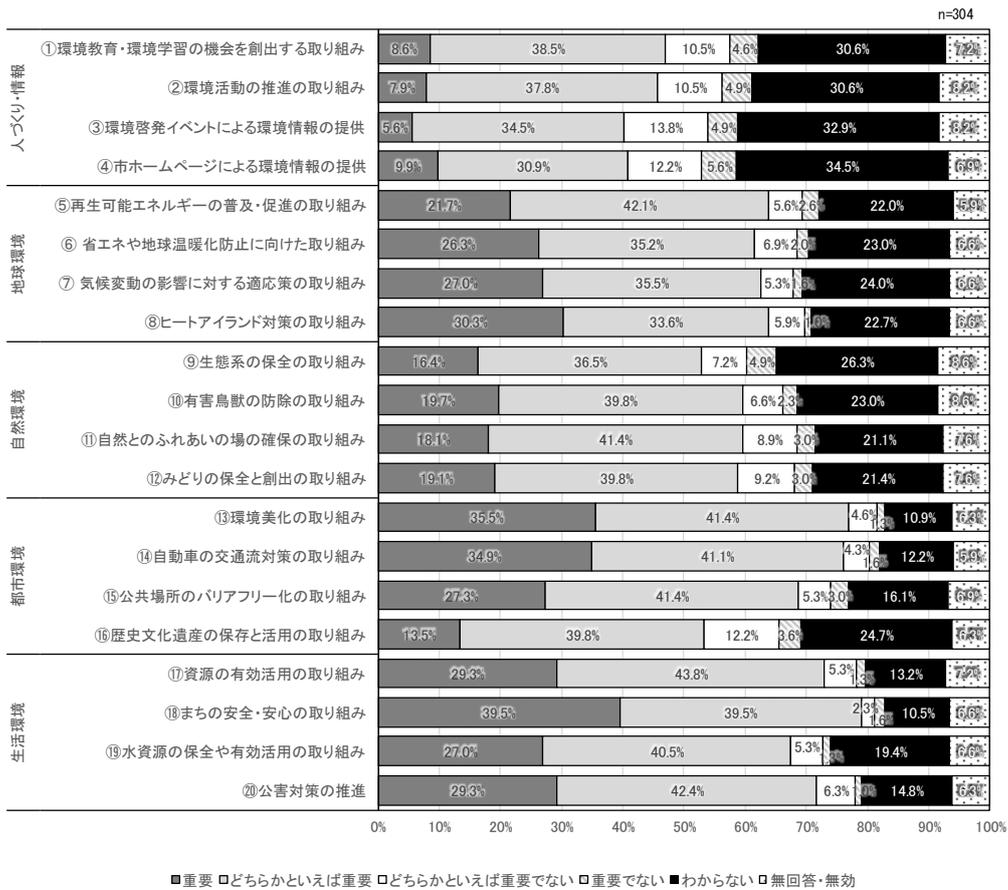
n=582



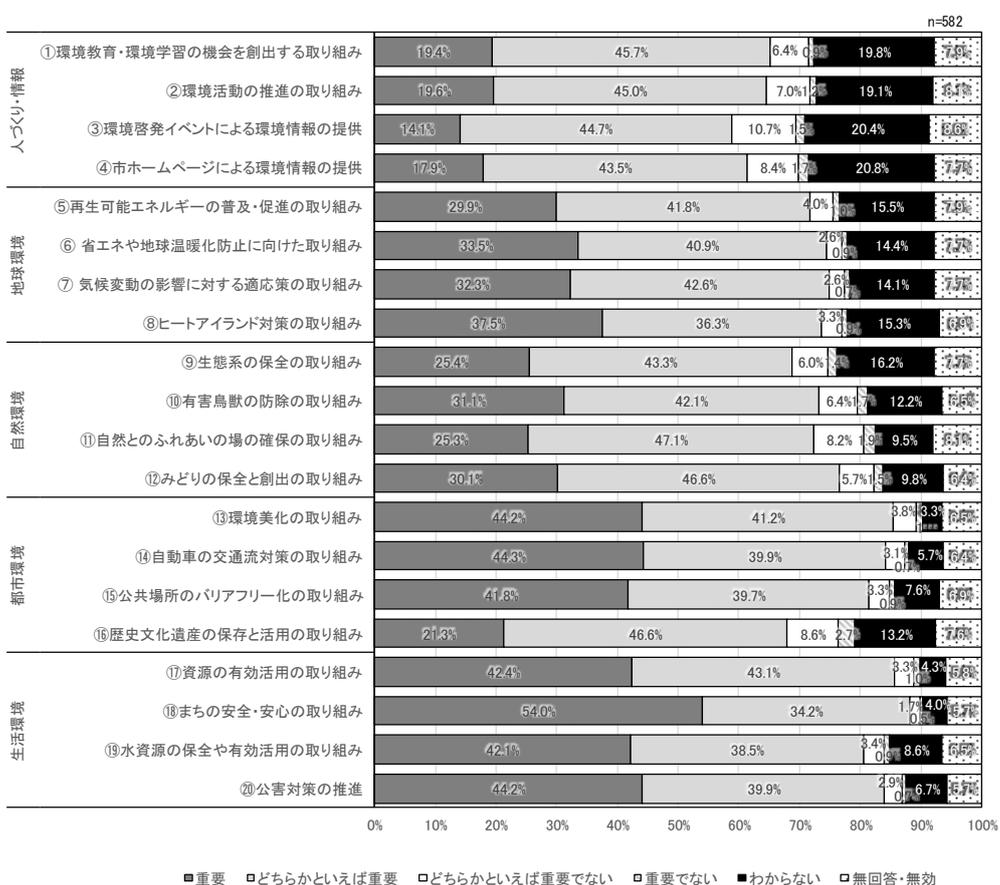
■重要 □どちらかといえば重要 □どちらかといえば重要でない □重要でない ■わからない □無回答・無効

現状の満足度

問5.枚方市の環境の取り組みについての重要度【環境意識が低い層】



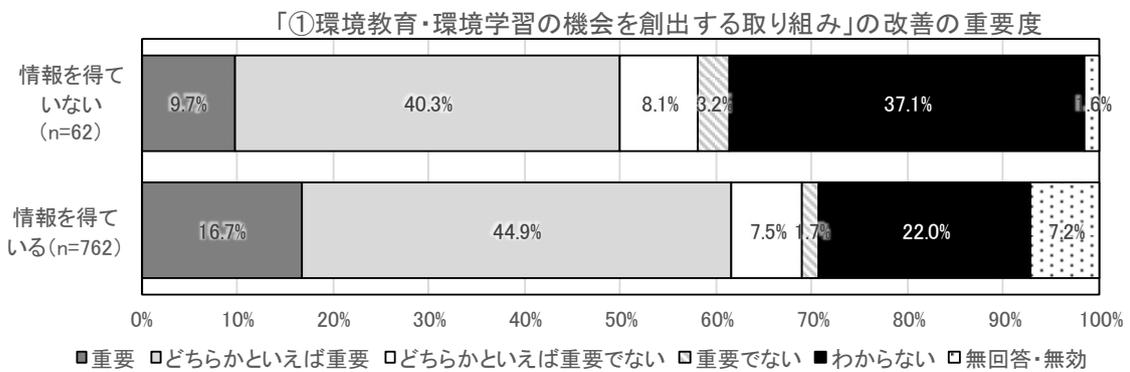
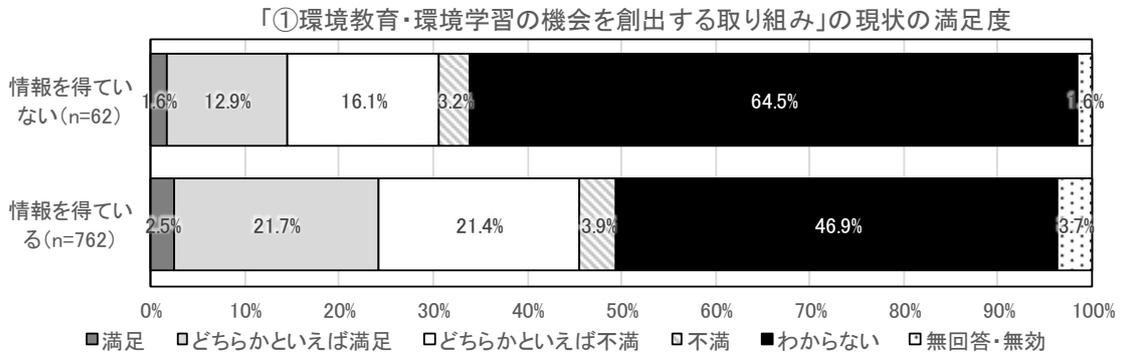
問5.枚方市の環境の取り組みについての重要度【環境意識が高い層】



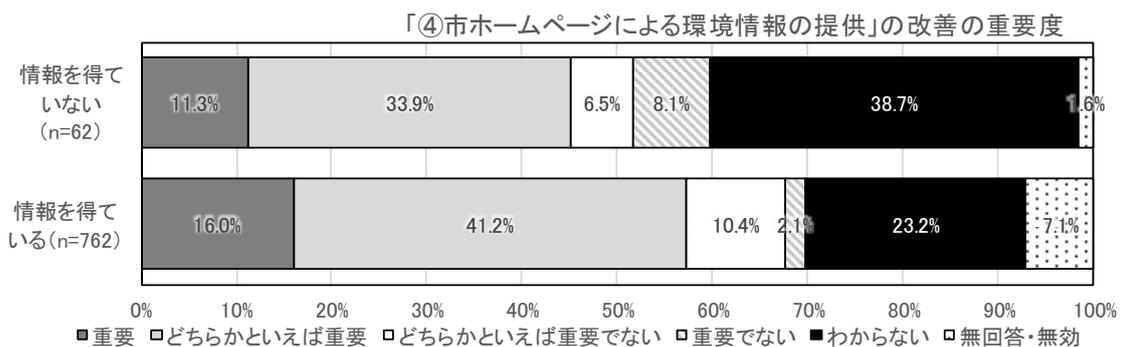
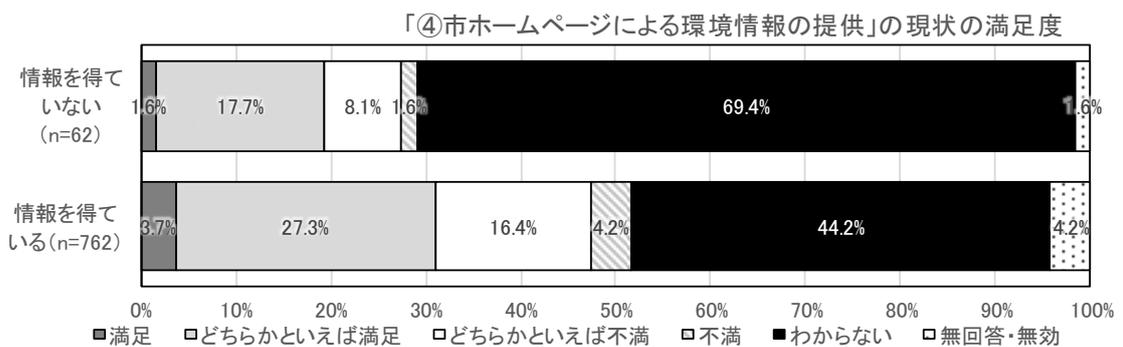
11. 第5問関係 クロス集計結果（問9：「環境」に関する情報の取得別）

環境の取組みについて現状の満足度は、情報を得ている人ほど「満足」、「どちらかといえば満足」と答える割合が大きい。
 「わからない」と答える割合は、情報を得ていない人ほど割合が多い。

①環境教育・環境学習の機会を創出する取り組み

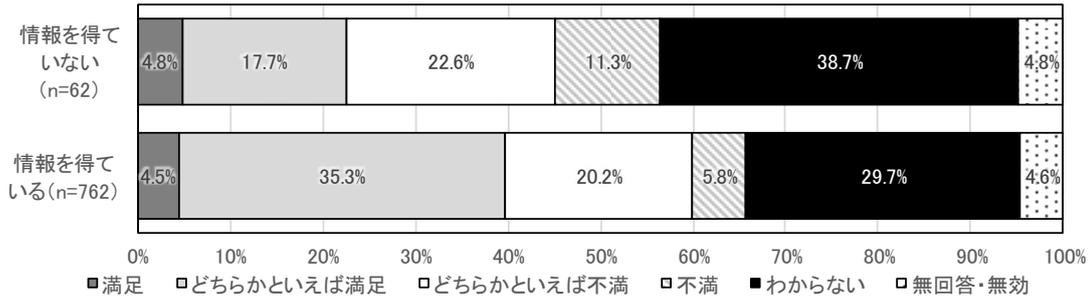


④市ホームページによる環境情報の提供

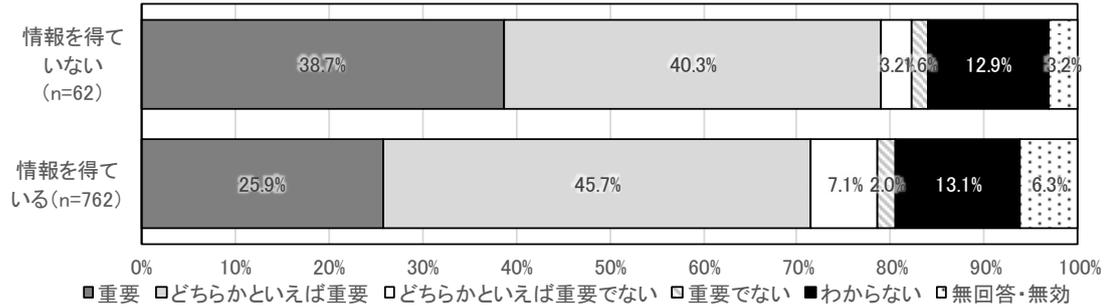


⑫みどりの保全と創出の取り組み

「⑫みどりの保全と創出の取り組み」の現状の満足度

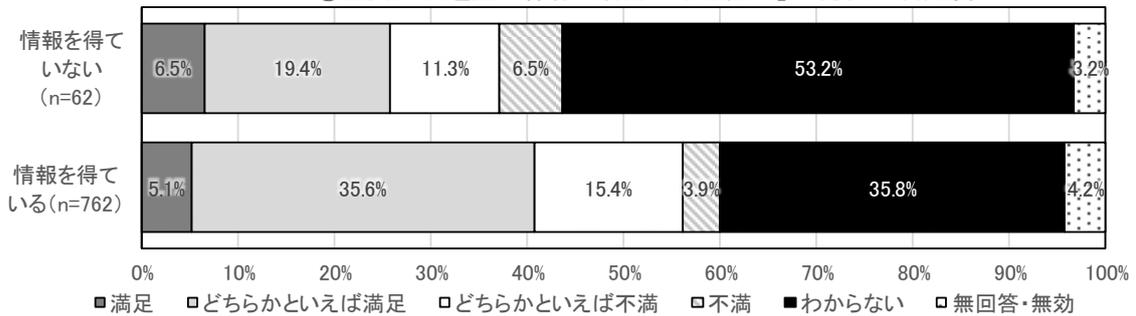


「⑫みどりの保全と創出の取り組み」の改善の重要度

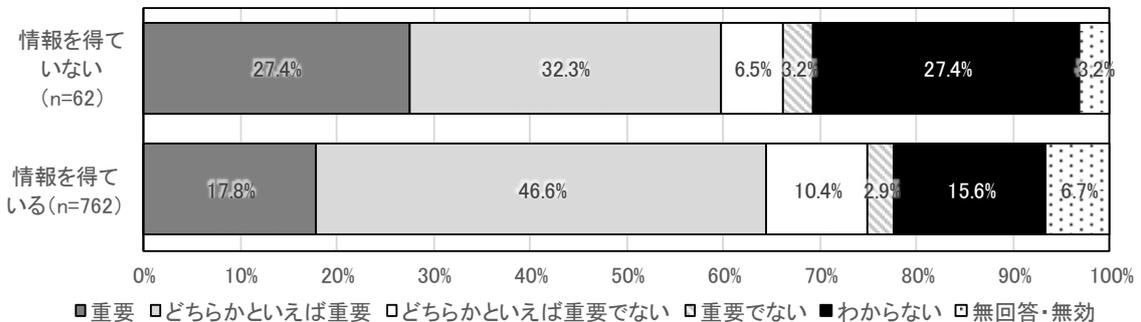


⑯歴史文化遺産の保存と活用の取り組み

「⑯歴史文化遺産の保存と活用の取り組み」の現状の満足度



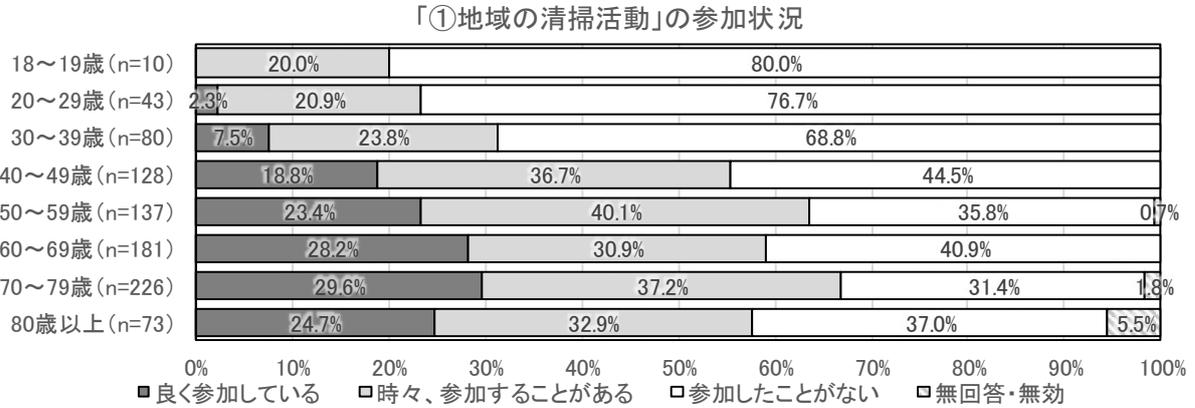
「⑯歴史文化遺産の保存と活用の取り組み」の改善の重要度



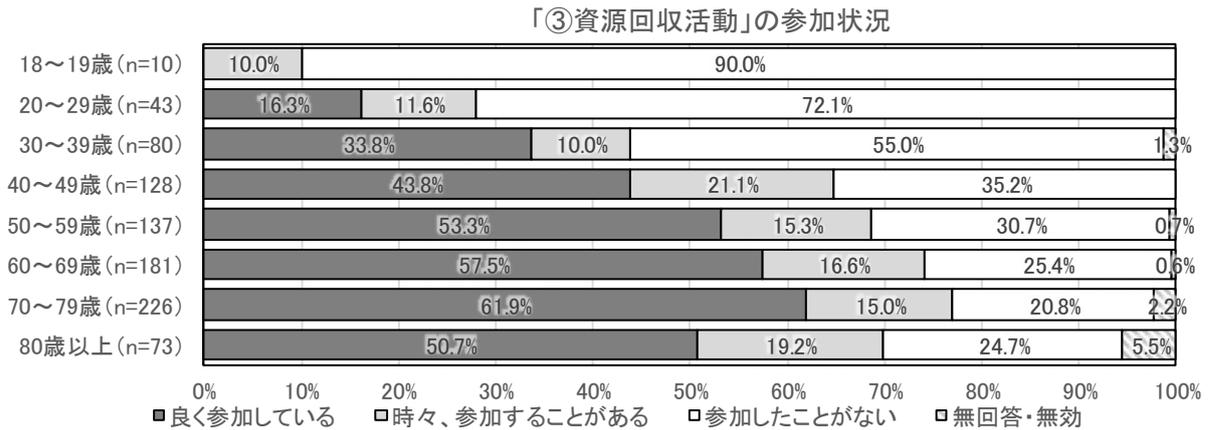
12. 第6問関係 クロス集計結果（問2：年齢別）

地域などで実施されている環境保全活動の参加は、年齢が上がるにつれて「良く参加している」と答えた割合が大きくなっている。

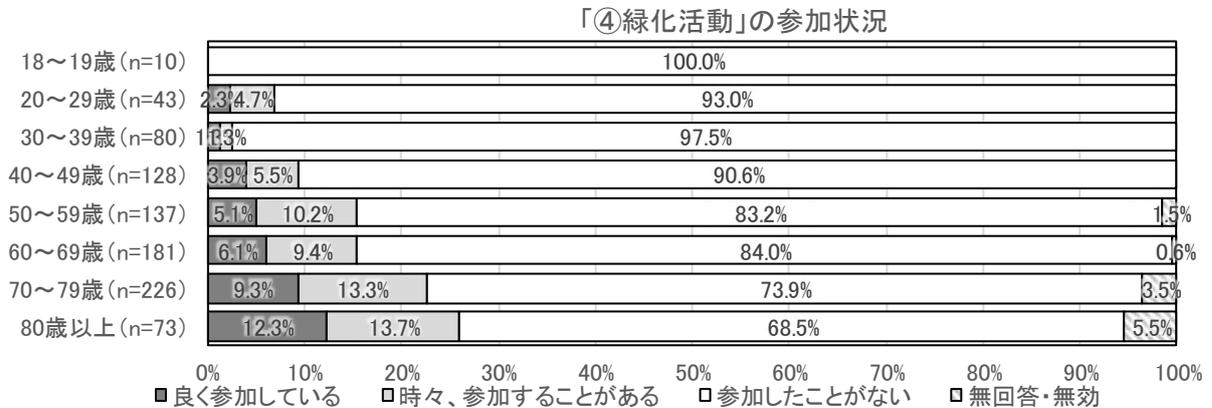
①地域の清掃活動



③資源回収活動



④緑化活動



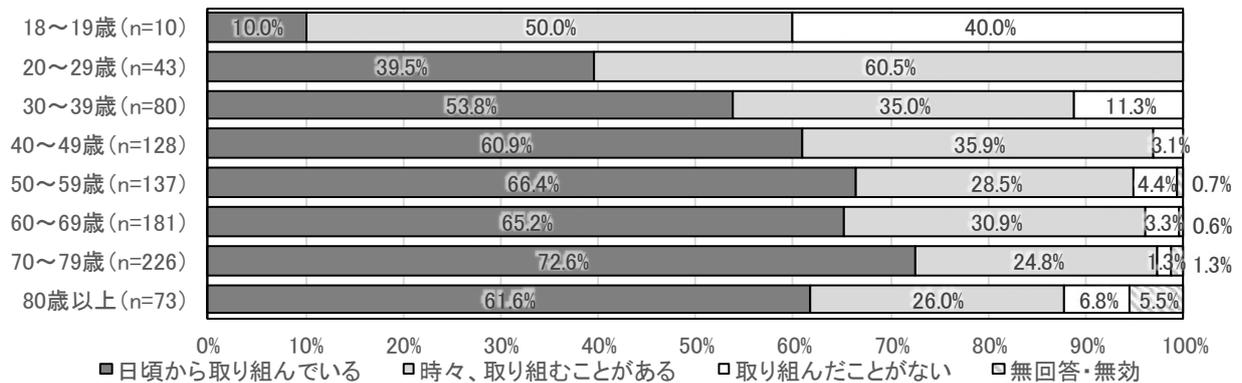
13. 第7問関係 クロス集計結果（問2：年齢別）

日常的に行っている環境保全の行動は、年齢が上がるにつれて「日頃から取り組んでいる」と答えた割合が大きくなっている。

「④ごみのポイ捨てをしない、出かけたときはゴミを持ち帰る」については、30～39歳、40～49歳、50～59歳が「日頃から取り組んでいる」、「時々、取り組むことがある」と答えた割合が大きい。

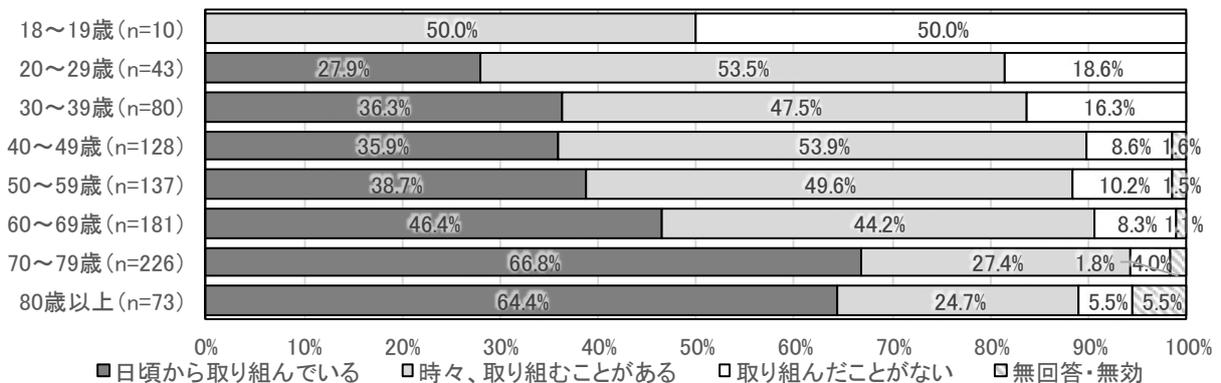
①日常生活において、節電等の省エネに努める

「①日常生活において、節電等の省エネに努める」の取り組み状況



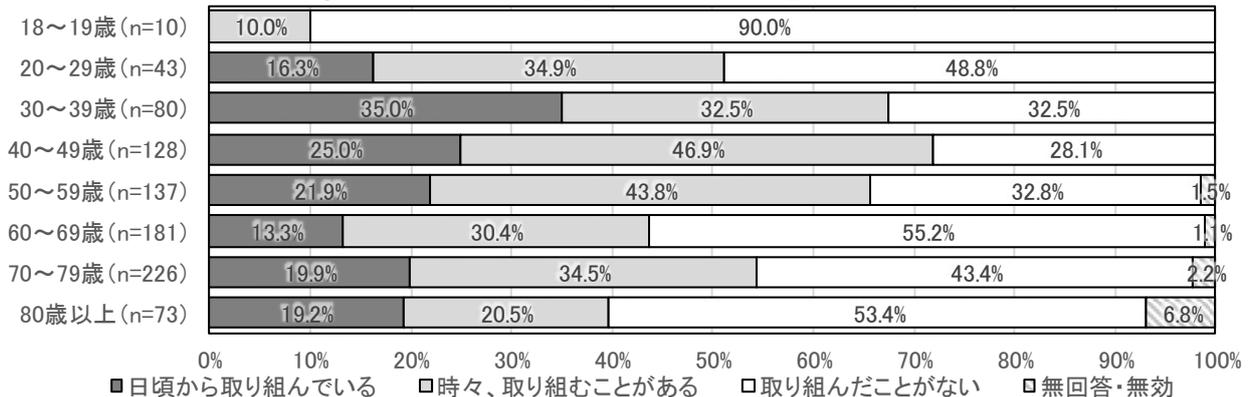
②日常生活において、できるだけゴミを出さないようにする

「②日常生活において、できるだけゴミを出さないようにする」の取り組み状況



④ごみのポイ捨てをしない、出かけたときはゴミを持ち帰る

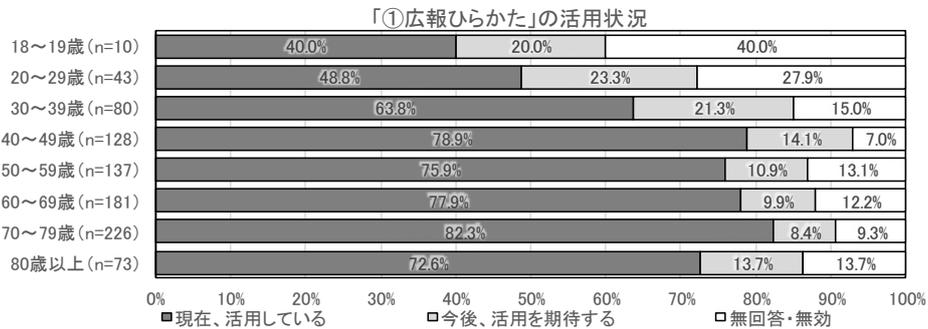
「④ごみのポイ捨てをしない、出かけたときはゴミを持ち帰る」の取り組み状況



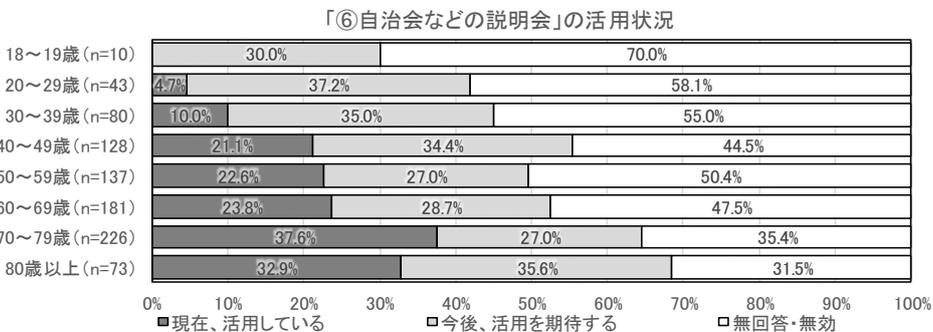
14. 第9問関係 クロス集計結果（問2：年齢別）

年齢が上がるにつれて、「①広報ひらかた」、「⑨新聞・雑誌・ミニコミ誌」、「⑥自治会などの説明会」を活用している割合が大きい。「⑦SNS」は、年齢が若い人ほど活用している割合が大きい。

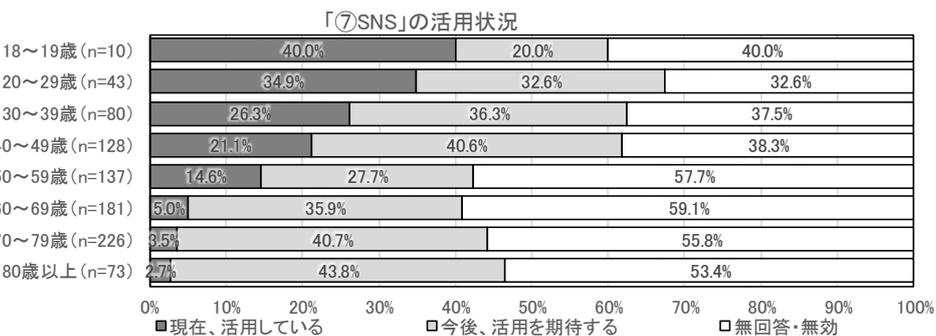
①広報ひらかた



⑥自治会などの説明会



⑦SNS



⑨新聞・雑誌・ミニコミ誌

